

令和2年度

推薦入試学生募集要項

◆ 大学入試センター試験を課さない推薦入試

◆ 大学入試センター試験を課す推薦入試

出願期間 令和元年11月1日（金）～
 令和元年11月6日（水）【必着】

入試実施日 令和元年11月16日（土）

*学校教育教員養成課程中等教育専攻美術・書道教育コース【美術分野】及び教育協働学科芸術表現専攻音楽表現コースでは、11月16日（土）及び11月17日（日）の2日間実施します。

【注】教育協働学科グローバル教育専攻多文化リテラシーコースは、志願者数によっては、11月17日（日）にも実施する場合があります。

令和2年4月入学者用の学生募集要項です。



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

目 次

出願から入学手続までの流れ	1
推薦入試について	2
アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	3
ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	5
カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）	7

I 大学入試センター試験を課さない推薦入試

1 募集人員	11
2 出願資格及び要件	11
3 出願期間・出願方法等	14
4 入学者選抜方法等	21
5 入学前教育について【美術・書道教育コースのみ】	28

II 大学入試センター試験を課す推薦入試

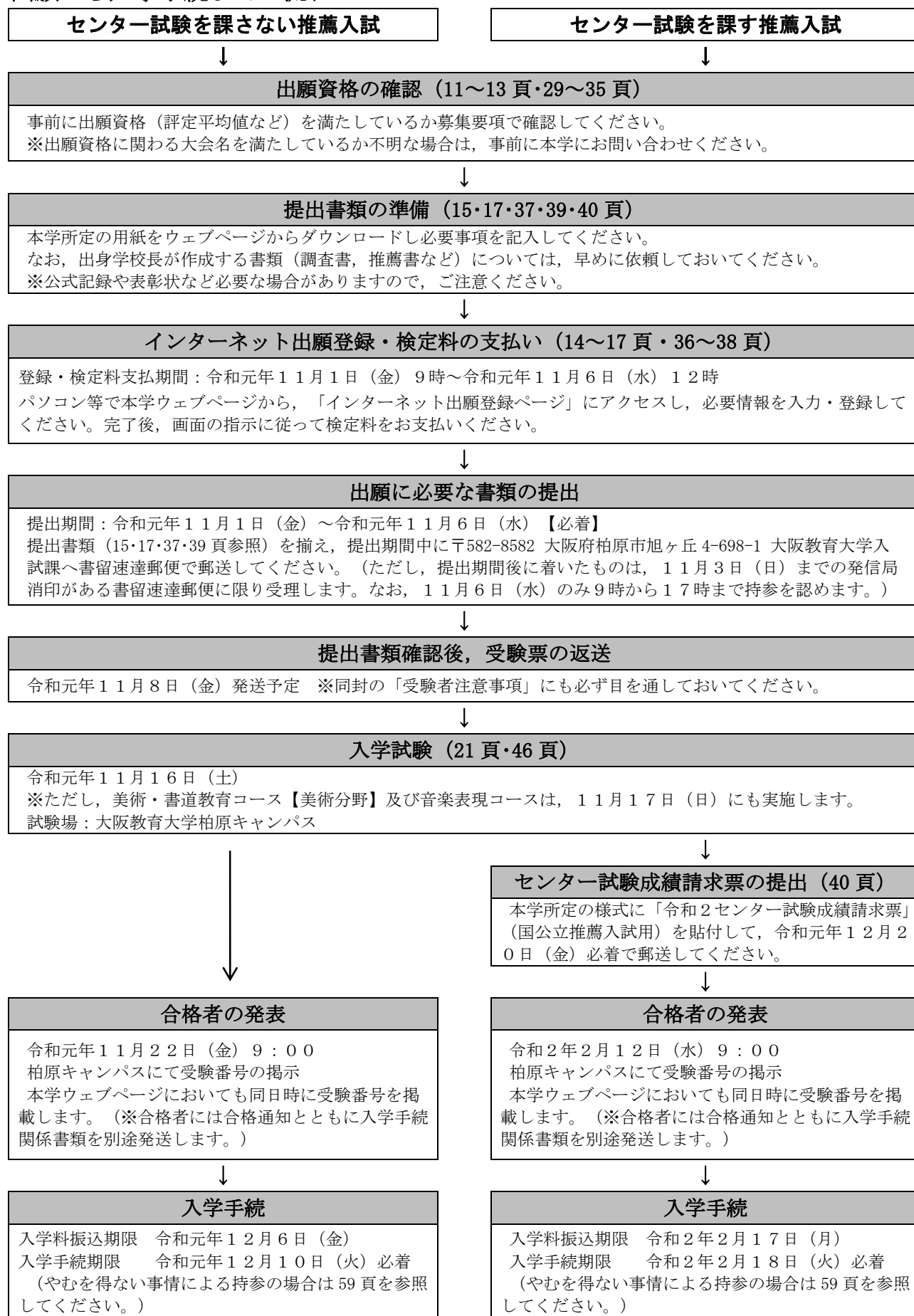
1 募集人員	29
2 出願資格及び要件	29
3 出願期間・出願方法等	36
4 入学者選抜方法等	46

各推薦共通

1 入学試験場	59
2 合格者の発表	59
3 入学手続等	59
4 一般入試との併願について	60
5 個人情報の取扱いについて	61
6 入学検定料等の返還請求について	61

学生生活案内	62
麻しん（はしか）の予防について《お知らせ》	65
令和2年度大学入試センター試験受験教科・科目の確認表 （センター試験を課す推薦のみ）	66
インターネット出願方法	69
インターネット出願に関するQ & A	72

出願から入学手続きまでの流れ



推薦入試について

大阪教育大学では、入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、次のとおり推薦入試を実施します。

なお、国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）への出願は、一つの大学・学部に限られていますのでご注意ください

ただし、推薦入試に不合格となった場合に備え、本学又は他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）の一般入試については、「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部に出願できます。また、前期日程グループ及び後期日程グループに属さない大学・学部への出願については特に制限がありません。

※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/>）参照

募集する課程・学科・専攻・コース

◆大学入試センター試験を課さない推薦入試

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員（注１）
柏原	学校教育 教員養成課程	中等教育専攻	技術教育コース	４人
			美術・書道教育コース【美術分野】	３人
	教育協働学科	芸術表現専攻	音楽表現コース	９人
		スポーツ科学専攻		２０人

◆大学入試センター試験を課す推薦入試

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員（注１）
天王寺 （注２）	初等教育 教員養成課程	幼児教育専攻		３人
		小学校教育専攻	昼間コース	１０人
			夜間５年コース	５人
柏原	学校教育 教員養成課程	特別支援教育専攻		７人
		小中教育専攻	学校教育コース	７人
			国語教育コース	７人
			英語教育コース	４人
			社会科教育コース	７人
			理科教育コース	５人
			家政教育コース	３人
			音楽教育コース	３人
		中等教育専攻	国語教育コース	３人
			英語教育コース	４人
			社会科教育コース	４人
			理科教育コース	３人
			家政教育コース	３人
			保健体育コース	５人
			音楽教育コース	３人
	教育協働学科	グローバル 教育専攻	英語コミュニケーションコース	７人
			多文化リテラシーコース	１５人

（注１）合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の合格者で補充します。

（注２）初等教育教員養成課程の幼児教育専攻及び小学校教育専攻昼間コースは、１～２年次を柏原キャンパスで修学予定です。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

「大阪教育大学アドミッション・ポリシー」

1. 基本理念・目標

大阪教育大学は、我が国の先導的な教員養成大学として、教育の充実と文化の発展に貢献し、とりわけ教育界における有為な人材の育成をととして、地域と世界の人々の福祉に寄与する大学であることを使命としています。この使命を達成するため、大阪教育大学では人と真摯に向き合う姿勢を基に、学生一人ひとりの個性を尊重した教育を推進していきます。

教育学部にあつては、グローバルな視野と豊かな教養を身に付け、専門的知識・技能及び優れた教育実践力を持った学校教員を養成するとともに、チーム学校を含む学校教育や地域教育活動を取り巻く分野（教育心理学、健康安全科学、理数情報、グローバル教育、芸術表現、スポーツ科学）の専門性を有しつつ、教育的視点から学校、家庭、地域、社会と連携・協働することで、グローバル時代における多様な教育課題の解決を図ることができる人材の養成をめざします。

大学院教育学研究科にあつては、高度な知識や研究手法の修得をととし、現代社会の多様な課題に対応できる探求能力を養い、様々な職業分野で課題解決能力を持って中核的役割を担える人材の育成をめざしています。

大学院連合教職実践研究科にあつては、教育委員会や学校現場との密接な連携の下での教員養成や現職教員教育を通じて、教員志望学生や現職教員学生に学校現場での課題に即応できる実践的知識・技能を拡充させるための視点と方法を獲得させ、もって学校における高度の専門的な能力及び優れた資質を有する専門職としての人材の育成をめざしています。

なお、本学では教育学部及び大学院において外国人留学生の受入れを積極的に進めています。

2. 求める学生像

（教育学部）

- ・子どもの未来への使命感と教職への意欲や強い関心を持つ人
- ・教員として教育現場を担える十分な基礎学力と旺盛な探求心を持つ人
- ・幅広く専門分野を学ぶことにより広い視野や柔軟な思考力の修得をめざす人
- ・現代社会への幅広い関心と自らの課題意識を持って積極的に社会参画をめざす人

（大学院教育学研究科）

- ・高度な先端知識の修得と複雑かつ多様な課題の解決能力の修得に意欲のある人
- ・現職経験をもとに自らの職能向上や研究能力の修得に意欲のある社会人

（大学院連合教職実践研究科）

- ・学校や地域の指導的・中核的な教員として高度で優れた実践力の獲得をめざす現職教員
- ・新しい学校づくりの担い手として自ら学び続けることで実践的指導力の獲得をめざす人

（外国人留学生）

上記の学部若しくは大学院の求める学生像に加えて、次のような人を求めています。

- ・一定の日本語能力と大学教育を受けるに必要な基礎学力を持つ人
- ・日本の文化や社会についての理解や経験を活かして国際的に活躍することをめざす人

3. 入学者選抜の基本方針

本学では、各募集区分の基本理念・目標等にあふさわしい学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。

教育学部においては、一般入学試験（前期日程・後期日程）、学部推薦入学試験、学部私費外国人留学生入学試験、第3年次編入学試験の多様な入学者選抜を実施します。

大学院においては、大学院入学試験を実施します。

特別支援教育特別専攻科においては、特別支援教育特別専攻科入学試験を実施します。

「初等教育教員養成課程アドミッション・ポリシー」

1. 基本理念・目標

初等教育教員養成課程では、グローバルな視野と豊かな教養を身に付け、幼稚園と小学校との連携をふまえた専門的知識・技能及び優れた実践力・応用力を有する教員を養成します。そのために、教養科目及び基礎的科目を修得しながら、教職に関わる科目を幅広く学ぶとともに、一人ひとりの子どもの人権や安全を守る教育についての知識や能力を養い、幼児教育と小学校教育の双方の専門分野について学修を深めます。

本課程に置く「幼児教育専攻」では、幼児を理解する力や豊かな表現力を身に付け、小学校教育との接続を踏まえた幼児教育について総合的な視点をもつ実践力のある幼稚園教員の養成を目的としています。

「小学校教育専攻」の昼間コースでは、児童を理解する力や基礎的な指導力を身に付け、幼児教育との接続を踏まえた小学校教育について総合的な視点をもつ実践力のある小学校教員の養成を目的としています。

「小学校教育専攻」の夜間コースでは、昼間の勤務経験や教育現場でのインターンシップ活動など豊富な経験をもとに、豊かな人間性と社会性を備え、かつ、幼小連携に関心を持ち、優れた実践的能力を備えた小学校教員の養成を目的としています。なお、夜間コースの編入生に対しては、学生一人ひとりの学歴や専門性を活かして優れた実践的能力を備えた小学校教員の養成を目的としています。また、現職教員についても、個性や経歴を尊重した教育を行います。

2. 求める学生像

- ・教職に就くことを強く希望し、その意思を持ち続けることのできる人
- ・教育や子どもの発達について、強い興味・関心と問題意識を持っている人
- ・明朗で協調性に富み、多様な人とのコミュニケーションが図れる人
- ・学校現場での豊富な体験や子どもとのふれあいなどを通して、確かな教育実践力を身に付けようとする人
- ・高等学校等で履修した教科・科目全般にわたる基礎学力を十分に身に付け、ICTの活用に積極性のある人

「学校教育教員養成課程アドミッション・ポリシー」

1. 基本理念・目標

学校教育教員養成課程では、広い視野と豊かな教養を身に付け、専門的知識・技能及び優れた教育実践力を持った学校教員を養成します。そのために、教養科目及び基礎的科目を修得した上で、教職に関わる科目を学ぶとともに、学校安全や危機対応についての知識や能力を養い、さらに、自らが所属する「専攻」において、専門分野の学修を深めます。本課程に置く「特別支援教育専攻」では、特別支援教育に関する知識や優れた技能を持ち、特別支援学校及び通常の学校で特別支援教育に携わる教員の養成を目的としています。「小中教育専攻」では、小・中学校の教育に関する知識や技能を持ち、専門の教科などに優れ、小・中学校の連携を踏まえた指導ができる小学校教員の養成を主目的としています。「中等教育専攻」では、専門の教科を中心にした優れた教育実践力を持ち、中学校と高等学校の接続や一貫教育を踏まえた指導ができる中学校教員・高等学校教員の養成を目的としています。

2. 求める学生像

- ・高等学校で履修した教科・科目の基礎学力を十分に身に付けた人
- ・教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- ・子どもたちの成長に関わることにやりがいと使命を感じることができる人
- ・多様な年齢の人々とコミュニケーションを図る能力を身に付けようとしている人
- ・学校生活の経験をとおして、学校や教育への親しみや関心を抱いている人
- ・特別支援教育専攻では、特別支援学校及び通常の学校で特別支援教育に携わる教員をめざすために十分な教育実践力を身に付けようとする意欲あふれる人
- ・小中教育専攻では、得意分野を中心に、小学校教員や中学校教員をめざすために十分な教育実践力を身に付けようとする意欲あふれる人
- ・中等教育専攻では、得意分野があり、その分野に関し中学校教員や高等学校教員としての十分な教育実践力を身に付けようとする意欲あふれる人

「教育協働学科アドミッション・ポリシー」

1. 基本理念・目標

多様化し、複雑化する現代社会においては、学校の教師だけで子どもの教育を支え、学校の教育だけで社会の教育を支えることは不可能になってきています。教育協働学科は、学校現場や社会で絶え間なく発生する教育課題を解決するために、チーム学校を含む学校教育や地域教育活動を取り巻く分野（教育心理学、健康安全科学、理数情報、グローバル教育、芸術表現、スポーツ科学）の専門性を有しつつ、教育的視点から学校、家庭、地域、社会と連携・協働することで、グローバル時代における多様な教育課題の解決を図ることができる人材の養成を目的とします。

そのため、学校と連携・協働して学校や地域における諸課題に対して教育的視点から解決を図ろうとする意欲を有する人材、また、学校教育のみならず家庭教育や社会教育においても、他者と協働しつつ高度な指導や支援、マネジメントができる人材、さらに、グローバル時代の多様な教育課題の解決を図ることができる人材を養成します。

2. 求める学生像

- ・自ら専門性を有しつつ教育理解をもって多様な専門家や市民と協働し、生涯教育社会における学校と地域社会と共に多様な教育課題の解決を図ることができる人
- ・自らの専門分野で高度な知識や高い技能を修得し、それらを活用して学校、家庭、地域、社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人
- ・確かな学力と旺盛な知的な好奇心、人間への深い愛情を持って、教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

「教育学部ディプロマ・ポリシー」

所定の単位を修得することによって、豊かな教養と知性ととともに優れた教職能力をもって教育現場を担える教諭または養護教諭と認められる者、又教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することによって、グローバル時代における多様な教育課題の解決を図る人材と認められる者に学士（教育学）の学位を授与します。

「初等教育教員養成課程ディプロマ・ポリシー」

豊かな教養と知性ととともに、優れた教職能力をもって教育現場を担える教諭と認められる者として共通に必要なとされる資質・能力について、次のとおり設定しています。

（１）豊かな教養と広い視野

- ・人文、社会、自然、芸術、スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解に加え、キャリア形成に向けた、ICTスキル、言語運用能力、コミュニケーション力、および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を身に付けている。
- ・世界の多様性を理解し、異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

（２）学校教育の基礎的理解

- ・教育の理念や教育に関する歴史及び思想、並びに教職の意義、教員の職務内容についての基礎的な理解ができている。
- ・子どもの心身の発達と学習の過程についての基礎的な理解ができている。
- ・学校教育に関する制度や経営的事項、並びに学校安全、特別なニーズのある子どもの教育に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。
- ・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）、教育の方法や技術（情報機器及び教材の活用を含む。）についての理解をしている。

（３）指導内容の理解と実践力

- ・保育の各領域や小学校の各教科を指導するために必要な内容の理解を深め、それらについての情報機器や教材の活用を含めた指導方法の基本を身に付けている。
- ・保育環境や学習環境の整備，アクティブ・ラーニングを取り入れた指導計画の立案や授業づくりを行うことができる。
- ・保育や授業を分析する基本を身に付け，教材研究を行いながら，保育や授業を構想することができる。

（４）子どもへの対応の理解

- ・子ども理解に基づいて，幼児・児童の指導，キャリア教育及び教育相談に関する理論と実践的な方法について修得している。
- ・特別な教育的ニーズや，いじめ，不登校などの指導上の課題への対応方法を理解している。
- ・道徳教育の理論及び指導法，特別活動の指導法及び総合的な学習の時間の指導法について理解している。

（５）教職力量を自らひらく力

- ・実践的な教育活動に参画し，幼児・児童と積極的にコミュニケーションをとることができる。
- ・自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し，将来への見通しや計画を立てることができる。
- ・チーム学校の構成員として，他者と協働して課題の解決に取り組むことができる。

「学校教育教員養成課程ディプロマ・ポリシー」

豊かな教養と知性ととともに，優れた教職能力をもって教育現場を担える教諭と認められる者として共通に必要なとされる資質・能力について，次のとおり設定しています。

（１）豊かな教養と広い視野

- ・人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解に加え，キャリア形成に向けた，ICTスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を身に付けている。
- ・世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

（２）学校教育の基礎的理解

- ・教育の理念や教育に関する歴史及び思想，並びに教職の意義，教員の職務内容についての基礎的な理解ができている。
- ・子どもの心身の発達と学習の過程についての基礎的な理解ができている。
- ・学校教育に関する制度や経営的事項，並びに学校安全，特別なニーズのある子どもの教育及び英語教育に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。
- ・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。），教育の方法や技術（情報機器及び教材の活用を含む。）についての理解をしている。

（３）指導内容の理解と実践力

- ・小学校・中学校・高等学校の各教科，特別支援教育の各領域を指導するために必要な内容についての理解を深め，情報機器や教材の活用を含めた学習指導方法の基本を身に付けている。
- ・学習環境の整備やアクティブ・ラーニングを取り入れた指導計画の立案や授業づくりを行うことができる。
- ・授業分析の基本を身に付け，教材研究を行いながら，学習指導や授業を構想することができる。

（４）子どもへの対応の理解

- ・子ども理解に基づいて，児童・生徒の指導，キャリア教育及び教育相談に関する理論と実践的な方法について修得している。
- ・特別な教育的ニーズや，いじめ，不登校などの生徒指導上の課題への対応方法を理解している。
- ・道徳教育の理論及び指導法，特別活動の指導法及び総合的な学習の時間の指導法について理解している。

(5) 教職力量を自らひらく力

- ・実践的な教育活動に参画し、児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。
- ・自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し、将来への見通しや計画を立てることができる。
- ・チーム学校の構成員として、他者と協働して課題の解決に取り組むことができる。

「教育協働学科ディプロマ・ポリシー」

豊かな教養と知性ととともに、教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することによって、グローバル時代における多様な課題の解決を図る人材と認められる者として共通に必要なとされる資質・能力について、次のとおり設定しています。

(1) 豊かな教養と広い視野

- ・人文、社会、自然、芸術、スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解力に加え、キャリア形成に向けた、ICTスキル、言語運用能力、コミュニケーション力、および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を身に付けている。
- ・世界の多様性を理解し、異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

(2) 教育理解

- ・社会や教育現場のグローバル化に対応し、学校や地域等と連携・協働しながら課題解決にあたる教育協働人材としての意欲や態度を身に付けている。
- ・教育の理念や歴史及び思想、子どもの発達と心理の理解、教育制度全般や学校の組織と役割の理解等の教育の基礎理論、及び学校安全に関する理解を含む教育についての基礎的知識を身に付けている。

(3) 協働力

- ・他者と協働して問題を分析し、その課題を整理することができる。
- ・他者と協働して課題解決に向けてのプランを策定することができる。
- ・課題解決プランを他者と協働して実行するための実践力を身に付けている。

(4) 専門的知識・技能

- ・所属する専攻・コースの分野に係る専門的知識・技能を備えている。
- ・専門的知識・技能を用いて、専門分野に関わる内容やその意義を社会に向けて的確に伝達、表現することができる。
- ・専門的知識・技能を主体的に活用し、行動することができる。

(5) 教育協働実践力

教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することで、グローバル時代における多様な教育課題を解決するために実践的に行動できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

「教育学部カリキュラム・ポリシー」

教育学部のカリキュラムは、卒業認定・学位授与の方針を踏まえ、教育学部各課程・学科において定める卒業時に必要とされる資質・能力を育成することを目的として、体系的に編成し、実施するものとします。

「初等教育教員養成課程カリキュラム・ポリシー」

豊かな教養と知性ととともに、優れた教職能力をもって教育現場を担える教諭と認められる者として共通に必要なとされる資質・能力を育成することを目的として、カリキュラムは以下のとおり編成し、実施するものとします。

（１）豊かな教養と広い視野

教養教育では、人文、社会、自然、芸術、スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解や、キャリア形成に向けた、ＩＣＴスキル、言語運用能力、コミュニケーション力、および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を育成するとともに、世界の多様性を理解し、異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けることを目的として、「基盤教養科目」と「多様性理解科目」から構成する総合科目と7つの領域にわたる分野別科目とともに外国語科目、体育科目、ＩＣＴ科目を体系的に編成します。

（２）学校教育の基礎的理解

教育の理念や歴史、思想および学校教育を取り巻く文化や社会と歴史、学校安全並びに人権尊重、地域との連携を含む学校教育の制度や経営について理解するとともに、教職の意義や教員の職務、学級担任の役割や子どもについて基礎的な理解（幼児、児童及び生徒の発達を含む。）及び教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）、教育の方法や技術（情報機器及び教材の活用を含む。）についての理解を深めることができるよう、「教育総論」や「発達と学習の心理学」、「学校の役割と経営」や「教育課程・方法論」などの教職専門科目を体系的に編成します。

（３）指導内容の理解と実践力

保育における各領域や小学校の各教科を指導するために必要なそれらの内容についての理解を深め、それらについての情報機器や教材の活用を含めた指導方法の基本を修得し、保育環境や学習環境の整備、アクティブ・ラーニングを取り入れた指導計画の立案や授業づくりができる能力や、保育や授業を分析する基本を身に付け、教材研究を行いながら、保育や授業を構想することができる能力を育成するため、保育内容指導法科目、小学校の各教科に係る教科専門科目及び指導法科目、専門教育としての幼稚園教育専門科目、教職や教育実践、教科教育からなる系列専門科目などの科目を体系的に編成します。

（４）子どもへの対応の理解

子ども理解に基づく幼児・児童の指導、キャリア教育及び教育相談に関する理論と実践的な方法を修得し、特別な教育的ニーズや、いじめ、不登校などの指導上の課題への対応方法や、道徳教育の理論及び指導法、特別活動の指導法及び総合的な学習の指導法について理解することができるよう、「教育相談の心理学」や「幼児理解と教育相談」、「特別活動論（総合的な学習の時間や指導法を含む。）」や「道徳教育論」などの教職専門科目、「インクルーシブ教育システム論」などの教職基礎科目を体系的に編成します。

（５）教職力量を自らひらく力

実践的な教育活動に参加し、幼児・児童と積極的にコミュニケーションをとることができる能力や、自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し、将来への見通しや計画を立てることができる能力、チーム学校の構成員の視点から他者と協働して課題の解決に取り組むことができる能力を育成するため、学校インターンシップ科目や「教育実習」などの教職関連科目、「教職実践演習」などの教職専門科目を体系的に編成します。

（６）その他

- ・各授業は、講義・演習・実験・実習などの方法により展開します。
- ・成績評価は、プレゼンテーション、レポート、試験など、多様な方法により行うものとするとともに、どのように成績に反映されるか、シラバスに明記するものとします。
- ・指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に行い、授業改善に取り組むものとします。

「学校教育教員養成課程カリキュラム・ポリシー」

豊かな教養と知性ととともに、優れた教職能力をもって教育現場を担える教諭と認められる者として共通に必要なとされる資質・能力を育成することを目的として、カリキュラムは以下のとおり編成し、実施するものとします。

（１）豊かな教養と広い視野

教養教育では、人文、社会、自然、芸術、スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解や、キャリア形成に向けた、ＩＣＴスキル、言語運用能力、コミュニケーション力、および論理的・批判的思考力

からなる汎用基礎力を育成するとともに、世界の多様性を理解し、異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けることを目的として、「基盤教養科目」と「多様性理解科目」から構成する総合科目と7つの領域にわたる分野別科目とともに外国語科目、体育科目、ICT科目を体系的に編成します。

（２）学校教育の基礎的理解

教育の理念や歴史、思想および学校教育を取り巻く文化や社会と歴史、学校安全並びに人権尊重、地域との連携を含む学校教育の制度や経営について理解するとともに、教職の意義や教員の職務、学級担任の役割や子どもについて基礎的な理解（幼児、児童及び生徒の発達を含む。）及び教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）、教育の方法や技術（情報機器及び教材の活用を含む。）についての理解を深めることができるよう、「教育総論」や「発達と学習の心理学」、「学校の役割と経営」や「教育課程・方法論」などの教職専門科目を体系的に編成します。

（３）指導内容の理解と実践力

小学校・中学校・高等学校の各教科及び特別支援教育の各領域を指導するために必要なそれらの内容についての理解を深め、情報機器や教材の活用を含めた学習指導方法の基本を修得し、学習環境の整備、アクティブ・ラーニングを取り入れた指導計画の立案や授業づくりができる能力や、授業分析の基本を身に付け、教材研究を行いながら、学習指導や授業を構想することができる能力を育成するため、小学校の各教科に係る教科専門科目及び指導法科目、専門教育としての教育科学（教育学・心理学・道徳教育学）や、中・高等学校の各教科内容に係る高度な理解に資するコース専門科目、特別支援教育専門科目を体系的に編成します。

（４）子どもへの対応の理解

子ども理解に基づく児童・生徒の指導、キャリア教育及び教育相談に関するの理論と実践的な方法を修得し、特別な教育的ニーズや、いじめ、不登校などの生徒指導上の課題への対応方法や、道徳教育の理論及び指導法、特別活動の指導法及び総合的な学習の指導法について理解することができるよう、「生徒指導・進路指導論」や「教育相談の心理学」、「特別活動論（総合的な学習の時間の指導法を含む。）」や「道徳教育論」などの教職専門科目、「インクルーシブ教育システム論」などの教職基礎科目を体系的に編成します。

（５）教職力量を自らひらく力

実践的な教育活動に参加し、児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる能力や、自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し、将来への見通しや計画を立てることができる能力、チーム学校の構成員の視点から他者と協働して課題の解決に取り組むことができる能力を育成するため、学校インターンシップ科目や「教育実習」などの教職関連科目、「教職実践演習」などの教職専門科目を体系的に編成します。

（６）その他

- ・各授業は、講義・演習・実験・実習などの方法により展開します。
- ・成績評価は、プレゼンテーション、レポート、試験など、多様な方法により行うものとするとともに、どのように成績に反映されるか、シラバスに明記するものとします。
- ・指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に行い、授業改善に取り組むものとします。

「教育協働学科カリキュラム・ポリシー」

豊かな教養と知性ととともに、教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することによって、グローバル時代における多様な課題の解決を図る人材と認められる者として共通に必要なとされる資質・能力を育成することを目的として、カリキュラムは以下のとおり編成し、実施するものとします。

（１）豊かな教養と広い視野

教養教育では、人文、社会、自然、芸術、スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解や、キャリア形成に向けた、ICTスキル、言語運用能力、コミュニケーション力、および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を育成するとともに、世界の多様性を理解し、異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けることを目的として、「基盤教養科目」と「多様性理解科目」から構成する総合科目と

7つの領域にわたる分野別科目とともに外国語科目、体育科目、ICT科目を体系的に編成します。

（２）教育理解

社会のグローバル化に対応し、学校や地域等と連携の上、協働して課題解決にあたる教育協働人材としての基礎である教育の理念や教育の歴史及び思想、子どもの発達と心理の理解、教育制度全般や学校の組織と役割の理解などの教育の基礎理論や、学校安全の学修を通して、学校や地域における諸課題に対して教育的視点から解決を図ろうとする意欲や態度を醸成するため、教育基礎科目における「教育基礎セミナー」や「教育総論」、「学校の役割と経営」、「学校安全」などにより体系的に編成します。

（３）協働力

他者と協働して問題を分析のうえ整理し、課題解決に向けてのプランを策定することができる能力や課題解決プランを他者と協働して実行するための実践力を育成するため、専門教育科目に教育協働科目を開設し、「教育協働概論」、「教育協働デザイン演習」などの協働共通科目、各自が所属する専攻に対応する専攻共通科目を体系的に編成します。

（４）専門的知識・技能

所属する専攻・コースの分野に係る専門的知識・技能を備え、専門分野に関する内容やその意義を社会に向けて的確に伝達、表現することができる能力や、主体的に物事を考え、行動することに専門的知識・技能を活用できる能力を育成するため、専門教育科目において各自が所属する専攻に対応する専攻分野科目を体系的に編成します。

（５）教育協働実践力

教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することで、グローバル時代における多様な課題を解決するために実践的に行動できる能力を育成するため、専門教育科目における教育協働科目「教育コラボレーション演習」、「外国語実践演習」、課題解決型学習（PBL）科目であるプロジェクト演習科目などにより体系的に編成します。

（６）その他

- ・各授業は、講義・演習・実験・実習などの方法により展開します。
- ・成績評価は、プレゼンテーション、レポート、試験など、多様な方法により行うものとともに、どのように成績に反映されるか、シラバスに明記するものとします。
- ・指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的で開催し、授業改善に取り組むものとします。

I 大学入試センター試験を課さない推薦入試

1 募集人員

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員(注)
柏原	学校教育 教員養成課程	中等教育専攻	技術教育コース	4人
			美術・書道教育コース【美術分野】	3人
	教育協働学科	芸術表現専攻	音楽表現コース	9人
		スポーツ科学専攻		20人
教 育 学 部 合 計				36人

(注) 合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の合格者で補充します。

2 出願資格及び要件

課程・専攻・コース	出願資格及び要件												
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 次の①②のいずれかの項目に該当する者 ① 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者で、工業に関する学科を履修見込み、若しくは総合学科において工業に関する教科・科目を25単位以上履修見込みの者（ただし、普通教科・科目の履修により専門教科・科目の履修と同様の成果が期待できる場合においては、その普通教科・科目の単位を5単位まで単位数の中に含めることができる。） ② 高等専門学校第3学年を令和2年3月に修了見込みの者 (2) (1)①の者であって、調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.2以上の者 (1)②の者であって、必須科目に未履修単位がなく、高等専門学校で修得した単位数を次の式にあてはめた値（小数点第2位を四捨五入）が2.4以上の者 $\{(\text{秀の単位数} \times 4) + (\text{優の単位数} \times 3) + (\text{良の単位数} \times 2) + (\text{可の単位数} \times 1)\} \div (\text{総履修単位数})$ ただし、成績評価は100点満点をもってするものとし、それぞれの評語は次の評点区分とする。 <table><tr><td>評語</td><td>秀</td><td>優</td><td>良</td><td>可</td><td>不可</td></tr><tr><td>評点</td><td>100～90点</td><td>89～80点</td><td>79～70点</td><td>69～60点</td><td>59～0点</td></tr></table> (3) 将来、中学校・高等学校において技術教育に携わる教員を強く志望する者 (4) 技術に関する高い興味と適性を備え、技術教育にかかわる学習意欲が旺盛であると認められる者	評語	秀	優	良	可	不可	評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点
評語	秀	優	良	可	不可								
評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点								

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・学科・専攻等	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース 【美術分野】	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 次のA、Bのいずれかに該当する者 A 美術（デザイン・工芸を含む。）の専門学科に在籍する者で、調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.5以上の者 B 上記以外の学科に在籍する者で、調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.5以上であり、かつ芸術（音楽、書道を除く。）の評定平均値が4.0以上の者 (3) 美術教育への深い関心と高い実技能力を持ち、将来、中学校・高等学校の美術の教員を強く志望する者
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 次のA、Bのいずれかに該当する者 A 高等学校の音楽科（それに準ずるコース等）に在籍する者で、実技（作曲・声楽・器楽）が特に優秀と認められる者（ただし、音楽関係科目等を13単位以上履修見込みの者に限る。） B 高等学校在籍中に作曲、声楽（独唱・重唱・合唱）、器楽（独奏・重奏・管弦楽・吹奏楽）の分野で、全国レベル又はそれに準ずるコンクールに入賞・入選した者又は主催者の推薦を受けて出演した者 [出願資格に関わるコンクールについては、25頁を参照すること。] ただし、器楽についてはA、Bとも次の楽器に限る。 ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、バス・トロンボーン、テューバ、パーカッション (3) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.5以上の者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

学科・専攻	出願資格及び要件
教育協働学科 スポーツ科学専攻	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 ただし、推薦人数は各種目につき１校２名以内とする。 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和２年３月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 高等学校在籍中に、次の運動種目のいずれかにおいて、団体又は個人種目において全国ベスト１６以上の者（実際にプレーしなかった大会は除く）又は団体種目において全国選抜若しくは全国優秀選手に選ばれた者 〔出願資格に関わる大会については、２７頁を参照してください。〕 陸上競技，バスケットボール，サッカー，バレーボール， 体操競技，ダンス，柔道，剣道，水泳競技（競泳） (3) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が３.５以上の者 (4) 当該スポーツ活動を継続しようとする意志が強固で、かつ、将来、競技スポーツ選手の指導者を希望する者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

3 出願期間・出願方法等

(1) 出願期間

令和元年11月1日（金）から令和元年11月6日（水）まで（11月6日必着）

(2) 出願方法

インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の出願書類を郵送する「インターネット出願」を導入しています。出願完了には下記A、B、Cの順番で全ての手続が必要です。なお、各手続には受付期間が定められており、いずれか一つでも出願受付期間中に手続きが完了できない場合は出願を受理できませんので、十分ご注意ください。

- A インターネットによる出願登録
- B 入学検定料等（支払手数料含む）の支払い
- C 出願に必要な書類等の郵送での提出

【出願受付期間】

A インターネット出願登録期間	令和元年11月1日（金）9時～令和元年11月6日（水）12時（日本時間）
B 入学検定料等の支払期間	令和元年11月1日（金）9時～令和元年11月6日（水）12時（日本時間）
C 出願書類の郵送受付期間	令和元年11月1日（金）～令和元年11月6日（水）必着

この期間中に、インターネット出願登録と入学検定料等の支払いを完了し、なおかつ必要書類等が本学に到着していなければなりません。

必要書類等の受付は、郵送（書留速達）のみとし、出願受付期間を過ぎたものは受理しないので郵便事情を考慮し、余裕をもって早めに送付してください。ただし出願受付期間後に到着した場合でも11月3日（日）までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。また、出願受付期間最終日の11月6日（水）のみ、9時から17時まで、大阪教育大学入試課（柏原キャンパスC1棟1階）への持参を認めます。

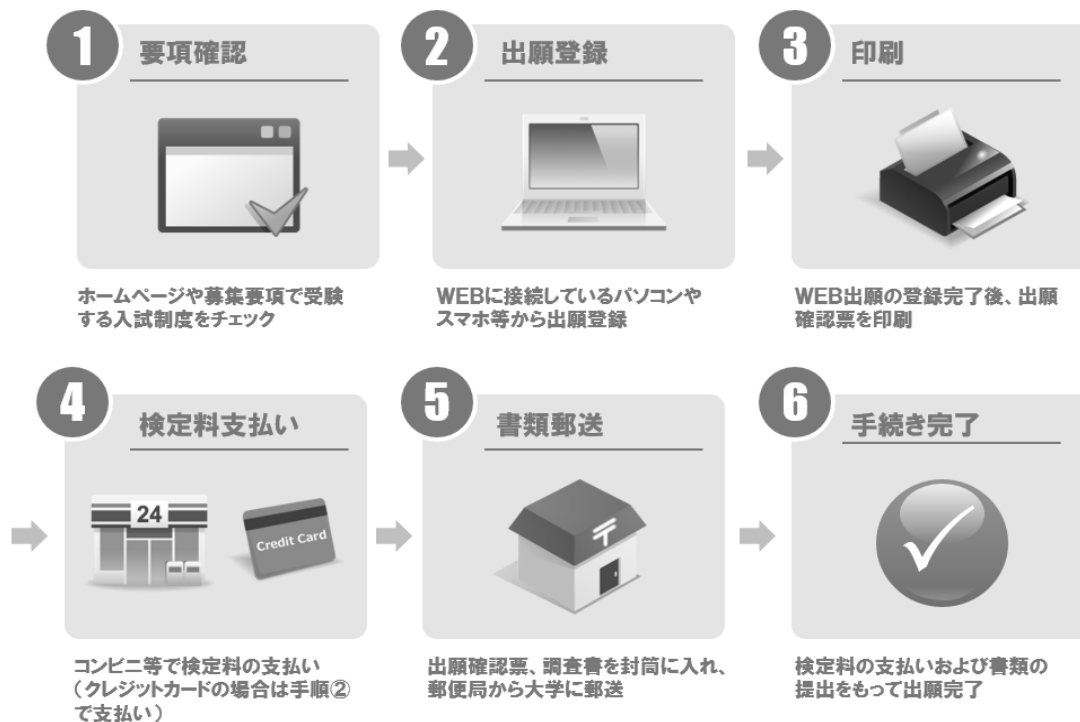
インターネット環境がない等の理由で、「A インターネットによる出願登録」を行えない場合は、大阪教育大学入試課まで相談してください。相談時期によっては、出願が間に合わない場合がありますので、早めの連絡をお願いいたします。

大阪教育大学入試課：072-978-3324（入試課直通）

※出願登録期間中、入試課窓口に設置する出願用パソコン・プリンタを利用することができます。

利用可能期間：出願登録期間中の平日（9：00～17：00、ただし6日は9：00～12：00）

【出願の流れ】



(3) 出願手順（インターネット出願）

大阪教育大学 入学試験 インターネット出願登録ページ

<https://sak-sak.net/app/oku>

※本学が出願登録業務を委託した外部サイトにつながります。

前頁のインターネット出願登録ページへアクセスし、重要事項が記載されている「**利用案内**」「**出願手順**」「**Q&A**」を必ず確認した上で、出願手続きを行ってください。

【登録前に準備するもの】

インターネット出願は登録中であっても、30分間何の処理も行わなかった場合は、データが消去されてしまいますので、ご注意ください。

パソコン・スマートフォン等の動作環境	インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。自宅にパソコン等がない場合は、学校等のパソコン等から出願してください。なお、出願登録期間中は大阪教育大学入試課にインターネット出願用のパソコンを設置します。
印刷環境（カラー推奨）	郵送が必要な書類をA4用紙に片面で印刷します。白黒印刷でもかまいません。自宅にプリンタ等がない場合は、学校等のプリンタ等から出力してください。なお、出願登録期間中は大阪教育大学入試課にインターネット出願用のプリンタを設置します。
メールアドレス	日常的に確認しやすいもの。出願登録時に必要となります。メール受信設定でドメインの設定を行っている場合は、「@sak-sak.net」を受信可能なドメインとして設定してください。
写真	2枚（同一）必要です。カラー、正面、上半身、脱帽、縦4cm x 横3cm、3か月以内に撮影したもの。
出願に必要な書類	志望する専攻、コース等により必要書類が異なります。必ず提出期間内に間に合うように郵送してください。
封筒	必要書類送付のために市販の角2封筒（24cm x 33.2cm）をご用意ください。
JAPAN e-Portfolioへの学びのデータの登録	学びのデータを「高大接続ポータルサイト JAPAN e-Portfolio」の登録を通じて提出する場合は18頁（7）を参照して学びのデータを登録してください。利用されていない方は、何もする必要はありません。

【インターネット出願登録受付期間】

令和元年11月1日（金）9時00分～令和元年11月6日（水）12時00分（日本時間）

【登録方法】

- ① アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）及び個人情報の取り扱いについて同意したうえで、「出願開始」ボタンをクリックしてください。
- ② 画面の指示に従って、「志願票選択」、「試験選択」、「志願先選択」画面で受験する区分、専攻、コース等を選択してください。なお、志望する専攻・コース等によっては「志願先付属情報」の入力を求められますので、必要に応じて入力してください。
注）実技試験を選択する者で、曲名等を登録して申請する必要がある者は、「志願先付属情報」で入力してください。
- ③ 画面の指示に従って「科目選択」で実技科目の選択、または「科目確認」で受験する科目の確認、「試験場確認」を行ってください。
- ④ 「試験選択」「選択中試験内容」を確認して、間違いがなければ「次へ」をクリックしてください。
- ⑤ 画面の指示に従って、志願者の個人情報を入力してください。メールの受信確認は出来る限り行ってください。

※JAPAN e-Portfolioと連携させる場合は、JeP 個人情報取得ボタンから画面の指示に従ってください。

- ⑥ 画面の指示に従って、「志願者情報入力確認」で訂正がないか、確認してください。出願登録完了後の登録内容の変更は出来ませんので、登録した内容を十分に確認してください。
- ⑦ 出願確認票の印刷
A4サイズの白の用紙に片面で印刷（カラー推奨・白黒可）してください。
- ⑧ 入学検定料等の支払い

次のいずれかの方法で支払い手続きを行ってください。出願確認票（本人控）に記載された支払期限までにお支払いください。

- a クレジットカード、ネットバンキング
画面に従って、支払い手続きを行ってください。
- b 指定のコンビニエンスストア及び Pay-easy（ペイジー）取扱い金融機関のATM

- i 支払方法を選択し、表示される受付番号等（※）をメモするか、画面を印刷してください。
※支払いのための受付番号等は、出願受付番号とは別の番号です。
- ii 受付番号等を使用し、コンビニエンスストア、金融機関で支払い手続きを行ってください。
詳細はインターネット出願登録ページの「ご利用方法について」でご確認ください。

⑨ 必要書類等の郵送

必要書類等を書留速達により郵送してください。

【出願書類の郵送受付期間】

令和元年 11 月 1 日（金）～ 令和元年 11 月 6 日（水）（必着）

郵送受付期間後に到着した場合でも、11月3日（日）までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。（郵便事情を考慮して、早めに送付してください。）なお、郵送受付期間最終日の11月6日（水）のみ、9時から17時まで、大阪教育大学入試課（柏原キャンパスC1棟1階）への持参を認めます。

※注意 インターネット出願において、出願登録及び入学検定料等の支払いを行っただけでは、出願手続き完了にはなりません。郵送受付期間に必要な書類等を郵送（必着）する必要があります。郵送受付期間を過ぎたものは受理しないので、郵便事情を十分考慮し、余裕をもって早めに送付してください。

（４）入学検定料等の支払い方法

①入学検定料等 17,372円（入学検定料17,000円と受験票送付用郵便代372円※）。

入学検定料等支払い時に、別途インターネット出願システム利用料（450円※）がかかります。

※消費税が増税された場合は、受験票送付用郵便代の金額とインターネット出願システム利用料が変更となります。金額はインターネット出願システムに表示されます。

②支払方法

クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、Pay-easy（ペイジー）の利用が可能です。それぞれの詳しい支払方法や手続き・注意事項等は「インターネット出願ページ」で出願情報登録後の「お支払方法選択」でご確認ください。

支払方法	備考
クレジットカード { VISA, MasterCard }	◆入学検定料等の支払いをインターネット出願と同時に完了することができます。
ネットバンキング { ジャパンネット銀行、ゆうちょ銀行 楽天銀行、じぶん銀行等 }	
コンビニエンスストア { ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、 セイコーマート、セブンイレブン、デイリーヤマザキ }	◆各コンビニにより支払方法が異なりますので、詳細は69～71頁をご確認ください。 ◆支払い後、決済データの反映に数時間かかります。
Pay-easy(ペイジー)を利用可能なATM	◆取扱金融機関のPay-easy ロゴが付いているATMで支払うことができます。

【入学検定料等の支払い受付期間】

令和元年 11 月 1 日（金）9 時 00 分～令和元年 11 月 6 日（水）12 時 00 分（日本時間）

③注意事項

出願後、一旦受理した入学検定料等は61頁6の場合を除き返還できません。

東日本大震災（平成23年3月11日）及び熊本地震（平成28年4月14日）により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。詳細は以下のウェブページを参照してください。

https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/kenteiryou_menjyo.html

(5) 出願書類等

	書 類 等	提出該当者	摘 要
インターネット出願登録内容の印刷物	① 出 願 確 認 票 (書類確認票を含む)	全 員	インターネット出願登録ページの出願登録完了画面からA4用紙に印刷してください。必ず片面印刷にしてください。
	② 写 真 票	全 員	写真は2枚(同一)が必要です。インターネット出願登録完了画面からA4用紙に印刷し、所定の位置に貼り付けてください。 (カラー、正面、上半身、脱帽、縦4cm×横3cmで3か月以内に撮影したもの。写真の裏面に氏名及び志望専攻名を記入してください。)
	③ 宛 名 ラ ベ ル	全 員	出願登録完了画面からA4用紙に印刷(カラー推奨)の上、必要書類郵送用封筒(市販の角2封筒)の表面に貼り付けてください。
その他必要となる書類(⑤から⑧は本学ウェブページから印刷してください)	④ 調 査 書	全 員	出身学校長が作成し、厳封したもの ただし、11頁の出願資格(1)の②に該当する場合は、成績証明書も必ず提出してください。
	⑤ 推 薦 書	全 員	本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの
	⑥ 競技成績に関する証明書 ※	スポーツ科学専攻 志望者のみ	本学所定の様式により出身学校長が作成したもの ただし、記載した出願資格に該当するすべての競技実績について、下記①、②に示す資料(コピー可)を必ず添付してください。 ①大会名、年度、チーム若しくは個人の順位・表彰内容が明らかとなる資料(表彰状、専門雑誌等) ②トーナメント方式の団体競技においては、出願資格を満たした全国大会において 所属チームのすべての試合 の公式記録あるいは公的記録(各競技の主催者から報道機関に配布された資料のコピーを含む。)これらの記録が入手不可能な場合には、出場を客観的に証明できる専門雑誌等の記載資料
	⑦ 演奏能力・創作力に関する証明書	音楽表現コース 志望者のみ	本学所定の様式により出身学校長が作成したもの なお、12頁の出願資格(2)のA及びBに該当する場合は、両方とも記入してください。また、出願資格(2)のBで出願する場合は、下記①、②に示す資料(コピー可)を必ず添付してください。 ①コンクール名、年度、団体もしくは個人の順位・表彰内容が明らかとなる資料(表彰状、専門雑誌等) ②団体においては、出願資格を満たしたコンクールにおいて個人の出場が客観的に証明できる専門雑誌等の記載資料
	⑧ 志 望 理 由 書	全 員	本学所定の様式に志願者が自筆で400字程度で作成してください。ただし、スポーツ科学専攻は600字程度、美術・書道教育コースは800字程度で作成してください。
	⑨ 英語能力測定試験に関する証明書 ※ 高等学校入学以降に受検した試験のみ有効とします。	スポーツ科学専攻 志望者のみ	実用英語技能検定、TOEFL iBT®などの英語能力測定試験で所定の等級又はスコア取得により、所定の点数加算を希望する場合は、17～20頁を参照のうえ、該当する試験の成績証明書など(コピー可)を提出してください。なお、 コピーの場合は、学校が原本証明したものを必ず提出してください。 提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。 【注】出願受付期間後に提出することはできません。
	⑩ 伴 奏 用 楽 譜	音楽表現コース 志望者のみ	声楽に必要な伴奏用楽譜は、B4判とし志願者氏名を明記してください。23頁を参照してください。

※⑥「競技成績に関する証明書」、⑨「英語能力測定試験に関する証明書」については、「JAPAN e-Portfolio」で学びのデータとして登録し、インターネット出願ページを経由して提出する事が出来ます。提出方法については18頁『(7) JAPAN e-Portfolioでの学びのデータの提出について』を確認してください。

(6) 英語能力測定試験の成績利用

スポーツ科学専攻では、実用英語技能検定、TOEFL iBT®などの英語能力測定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得している場合は、得点の合計点が個別学力検査等の配点等の満点に達するまで所定の点数を加算することができます。

(ア) 英語能力測定試験の得点加算

得点加算できる英語能力測定試験の等級又はスコアは次のとおりです。

なお、利用できる英語能力測定試験は高等学校入学以降に受検した試験を対象とし、利用できる英語能力測定試験の得点加算は1つのみとします。

得点加算	実用英語技能 検定（英検）	TOEFL iBT®	IELTS*	TOEIC® (L&R)	GTEC/ GTEC(4 技能) **
50 点	準 1 級以上	72 以上	5.5 以上	785 以上	1200 以上
30 点	2 級	60 以上	4.5 以上	550 以上	1050 以上
20 点	準 2 級	55 以上	3.5 以上	400 以上	840 以上
10 点	3 級	40 以上	3.0 以上	365 以上	770 以上

* IELTS はアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールの両方を対象とします。

** 2017 年度実施の GTEC CBT のスコアを保有している場合は、GTEC での証明書が必要です。

(イ) 英語能力測定試験の提出書類

英語能力測定試験で所定の等級又はスコアを取得しているため、得点加算を希望する場合には、該当する試験の成績証明書など（コピー可）を 1 通用意して、必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。なお、コピーの場合は、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。（英語能力測定試験の成績証明書などを出願受付期間後に提出することはできません。）

英語能力測定試験	提出書類（成績証明書など）
実用英語技能検定（英検）	実用英語技能検定 合格証明書
TOEFL iBT®	TOEFL Internet-based Test Examinee Score Report
IELTS	IELTS Test Report Form（成績証明書）
TOEIC®（L&R）	TOEIC® Listening & Reading Official Score Certificate（公式認定証）
GTEC/GTEC（4 技能）	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

（注 1）複数取得している場合には、最も得点加算が高いものを提出してください。

（注 2）提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。

(7) JAPAN e-Portfolioでの学びのデータの提出について

高大接続ポータルサイト「JAPAN e-Portfolio」を通じて学びのデータの提出を行うことが出来ます。提出いただいたデータは、以下の目的で利用させていただきます。

■利用目的

i 入学者選抜に係るデータとして利用（主体性評価として利用）

スポーツ科学専攻の志願者のみ、入学者選抜に係るデータとして利用します。

ii 参考・参照利用（今後の入学者選抜改革に向けて参考にします。）

スポーツ科学専攻の志願者以外については、入学者選抜に利用せず、参考・参照資料としてのみ利用します。可否には一切影響しませんので、提出にご協力いただける方は、任意での提出をお願いします。

i に該当する方で、JAPAN e-Portfolioを利用していない方は、証明書等を紙で提出していただくこととなりますので、17頁⑥⑨を参考に本学所定の様式等を他の出願書類と共に提出してください。

※詳細につきましては、<https://jep.jp/statics/faq/syutsugan.html>をご覧ください。

（JAPAN e-Portfolioのサイトにつながります。）

1. 学びのデータの登録方法

- ① 出願にあたって、競技実績、活動実績、資格・検定等を事前に「JAPAN e-Portfolio」（<https://jep.jp>）へ入力しておく必要があります。

※既に利用している場合は、次頁⑥～⑦の手順を確認し、漏れが無いか確認してください。

- ② 「JAPAN e-Portfolio」を利用するための ID は、高等学校教員から発行してもらってください。

- ③ ID が交付されたのち、「JAPAN e-Portfolio」にてパスワードの設定を含む初回登録を行うと利用できるようになります。
- ④ ID・パスワードを使用してログインし、最初にプロフィールの登録を行ってください。
- ⑤ トップ画面の「学びのデータを登録」から該当する項目を選択し、画面の指示に従って基本情報を登録してください。
- ⑥ 基本情報登録後「学びのデータを追加」を選択し、学びのカテゴリについて該当する競技実績、活動実績、資格・検定等をすべて入力してください。
 ※ 学びのデータ入力に際しては、必ず競技実績、活動実績を証明する賞状、証明書や文書、写真、大会公式記録、合格証等の添付、または、各種実績等が確認できるウェブサイトの URL を記入してください。
- ⑦ 「学びのデータ」の各項目のうち、特に出願時必須項目については必ず入力を行うとともに、承認必須項目について高等学校の教員（顧問等）の承認を受けてください。なお、学外での活動成績については、⑤で「学校以外の活動」を選択した上で、成績入力後に活動証明書を印刷メニューで印刷し、学外の指導者の証明を受けたものを、スマートフォン等で画像にし、学びのデータに添付してください。

2. 学びのデータを主体性評価の利用のために提出する場合（スポーツ科学専攻志望者のみ）

☆ 競技成績に関すること

- ① 「JAPAN e-Portfolio」のトップ画面で「大学提出用データ」を選択してください。
- ② 「大学提出用データ一覧画面」で「新規登録」を選択してください。
- ③ 「提出先大学選択画面」で大学名を（大阪教育大学）と選択してください。
- ④ 「大学提出用データ作成画面」で「入試制度（その他入試）」を選択し、入試名欄に「センター試験を課さない推薦入試」と入力してください。
- ⑤ 「大学提出用データ作成画面」で「大学に提出する学びのデータを選択する」を選択し、「大学提出用データ選択画面」にて表示された学びのデータから、「大会・試合の結果」「代表への選抜履歴」「段位の取得等」「ベスト記録・通算記録」「役職の履歴」「雑誌新聞等の記事」を選択してください。

選択時には、選択の誤りが無いよう、画面に表示されている学びのカテゴリのコードが、以下記載のコードと合っているか確認してください。

※部活動については下記表を参考に選択してください。

コード	項目	注意事項
D100	基本情報	
D101	大会・試合の結果	3つまで選択可
D102	代表への選抜履歴	該当する場合選択
D103	段位の取得等	該当する場合選択
D104	ベスト記録・通算記録	該当する場合選択
D105	役職の履歴	該当する場合選択
D106	雑誌新聞等の記事	該当する場合選択

※学校以外の活動については下記表を参考に選択してください。

コード	項目	注意事項
E100	基本情報	
E101	大会・試合の結果	3つまで選択可
E102	代表への選抜履歴	該当する場合選択
E103	段位の取得等	該当する場合選択
E104	ベスト記録・通算記録	該当する場合選択
E105	役職の履歴	該当する場合選択
E106	雑誌新聞等の記事	該当する場合選択

- ⑥ 続けて英語能力測定試験を提出する場合は、「☆ 英語能力測定試験に関すること」の⑤を行ってください。
- ⑦「大学提出用データ作成画面」で「大学指定情報を入力する」を選択し、「大学指定情報登録画面」にて「出願先大学からの入力指定」で「入力指定あり」を選択、「テキスト入力指定」にチェックを入れ、タイトル欄に「身長・体重」、内容欄に「身長：●●センチメートル、体重：●●キログラム」と入力してください。
- ※●●はご自身の値を入力下さい
- ⑧「大学提出用データ作成画面」で「大学提出用個人情報を入力／確認する」を選択し、入力・確認した上で間違いが無ければ、登録ボタンを押下し「大学提出用データ提供確認画面」の内容を確認後、作成を完了してください。

☆ 英語能力測定試験に関すること

- ①「JAPAN e-Portfolio」のトップ画面で「大学提出用データ」を選択してください。
- ②「大学提出用データ一覧画面」で「新規登録」を選択してください。
- ③「提出先大学選択画面」で大学名を（大阪教育大学）と選択してください。
- ④「大学提出用データ作成画面」で「入試制度（その他入試）」を選択し、入試名欄に「センター試験を課さない推薦入試」と入力してください。
- ⑤「大学提出用データ作成画面」で、「大学に提出する学びのデータを選択する」を選択し、「大学提出用データ選択画面」にて表示された学びのデータから、「資格・検定」を選択してください。
- 選択時には、選択の誤りが無いよう、画面に表示されている学びのカテゴリのコードが、「H001 資格・検定」となっているか確認してください。
- ⑥「大学提出用データ作成画面」で「大学提出用個人情報を入力／確認する」を選択し、入力・確認した上で間違いが無ければ、登録ボタンを押下し「大学提出用データ提供確認画面」の内容を確認後、作成を完了してください。

3. 学びのデータの参考・参照データとして提出する場合（任意提出）

- ①「JAPAN e-Portfolio」のトップ画面で「大学提出用データ」を選択してください。
- ②「提出先大学選択画面」で大学名を（大阪教育大学）と選択してください。
- ③「大学提出用データ作成画面」で「入試制度（その他入試）」を選択し、入試名欄に「参考情報」と入力してください。
- ④「大学提出用データ作成画面」で「大学に提出する学びのデータを選択する」を選択してください。
- ⑤「大学提出用データ選択画面」で、「学びのデータ」から、提出してよいものを選択してください。（この際、提出を控えたいデータは外すことができます。提出を控えたいデータがある場合はチェックを外してください。）

（8） 障がい等のある者の事前相談

障がい又は病気その他の理由で、受験上の配慮を希望する者は、令和元年10月21日（月）までに入試課へ相談してください。詳細は、以下のウェブページを参照してください。

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/jizensoudan.html>

【TEL：072-978-3324 受付時間：平日9:00～17:00】

また、本学は障がい学生修学支援ルームを設置しています。本ルームは入学後に修学上の配慮を希望する者の事前相談にも応じています。

<問い合わせ先>障がい学生修学支援ルーム（受付時間：平日9:00～17:00）

【電話・FAX：072-978-3479 電子メール：sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp】

（9） 出願に当たっての留意事項

国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部に限ります。

なお、不合格となった場合に備え、本学又は他の国公立大学の「前期・後期」等へ出願することができます。

注1 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。また、出願事項（JAPAN e-Portfolioも含みます。）が事実と相違していることが判明した場合は、合格又は入学許可を取り消すことがあります。

注2 受理した出願関係書類は、いかなる理由があっても一切返還できません。

4 入学者選抜方法等

(1) 実施日

令和元年11月16日(土)

ただし、学校教育教員養成課程中等教育専攻美術・書道教育コース【美術分野】及び教育協働学科芸術表現専攻音楽表現コースは、11月16日(土)及び11月17日(日)

(2) 検査科目・時間等

課程・学科・専攻・コース	検査時間	
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	小論文 面接	10:00～11:30 13:00～
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	実技・面接 (11/16) 小論文 (11/17) 面接 (11/17)	10:00～13:00 10:00～11:00 11:30～
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	小論文 (11/16) 実技・面接 (11/16) 実技・面接 (11/17)	10:00～11:00 11:30～ 10:00～
教育協働学科 スポーツ科学専攻	小論文 実技・面接	10:00～11:00 11:30～

※ 志願者数によっては、実技・面接の日時を変更することがあります。
その場合は、受験票返送時に「受験者注意事項」により通知します。

(3) 入学者選抜方法

課程・学科・専攻・コース	選抜方法
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	大学入試センター試験を免除し、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)、小論文及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	大学入試センター試験を免除し、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)、小論文、実技検査及び面接を総合して行う。
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	大学入試センター試験を免除し、出願書類(学校長が作成した調査書、推薦書及び演奏能力・創作力に関する証明書、志望理由書)、小論文、実技検査及び面接を総合して行う。(演奏能力・創作力に関する証明書には、演奏能力・創作力に関する所見又はコンクール等における受賞歴・演奏歴を記載。)
教育協働学科 スポーツ科学専攻	大学入試センター試験を免除し、出願書類(学校長が作成した調査書、推薦書及び競技成績に関する証明書、志望理由書及び英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその成績の証明書)、小論文、実技検査及び面接を総合して行う。

※総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。

(4) 令和2年度大学入試センター試験を課さない推薦入試の実施科目等について

センター試験を課さない推薦入試で、大阪教育大学が実施する個別学力検査等は次のとおりです。
なお、個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合は、選抜の対象としません。

課程・学科・専攻・コース	検査科目	個別学力検査等の配点等					
		小論文	実技	面接	証明書	志望理由書	合計
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	小論文 面接	250		250			500
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	小論文 実技 面接	100	200	100		100	500
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	小論文 実技 面接	100	200	100	100 ※1		500
教育協働学科 スポーツ科学専攻	小論文 実技 面接	100	200	100	100 ※2		500

※1は演奏能力・創作力に関する証明書

※2は競技成績に関する証明書

(5) 小論文の内容及び採点・評価基準

課程・学科・ 専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	技術や技術教育に関する理解と関心度をみるために、小論文形式で筆答させる。	課題に対する理解力や洞察力、論述における論理の構成力や表現力などを総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	文章表現をとおして、思考力・表現力・美術教育に関する理解と関心度をみるために、小論文形式で筆答させる。	出題された課題に対する理解度や関心度をみるとともに、論理の構成力や文章表現能力等も含め総合的に評価する。
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	音楽と社会との関わりについての理解と認識をみるために、小論文形式で筆答させる。	出題された問題への関心度・理解度をみるとともに、論旨の明確さ、文章表現能力等も含め総合的に評価する。
教育協働学科 スポーツ科学専攻	スポーツに関する理解と関心度をみるために、小論文形式で筆答させる。	出題した問題に対する理解度や関心度をみるとともに、論理の構成力や文章表現能力等も含め総合的に採点・評価する。

(6) - 1 実技検査の実施内容及び留意事項

学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース

鉛筆による静物デッサン

- (注) 鉛筆, 消しゴム (ねり消しゴムを含む) は各自持参すること。羽根ボウキは使用可。
スケールは使用不可。
(カルトン, 画用紙, クリップは本学で準備する。)

教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース

作 曲

- ア 与えられたバス及びソプラノに和声を付け四声体にする。(制作時間 2 時間)
イ 与えられたテーマ又はモチーフに基づいて, ピアノ曲を作る。(制作時間 2 時間)
(注) ア, イともに試験中の楽器の使用は認めない。

声 楽

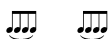
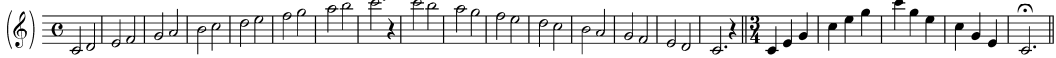
自由曲 2 曲

- (注) 1 歌詞は原語とし, 暗譜で歌うこと。
2 オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調で歌うこと。
3 曲の途中で演奏を中止させる場合がある。
4 伴奏用楽譜 (歌唱旋律及び歌詞が記入されたもの) を提出すること。ただし, 1 ページの大きさは B 5 判 (縦 257 mm×横 182 mm) とし, 志願者氏名を明記の上, 出願確認票と共に提出すること。提出後の作品及び調性等の変更は認めない。
5 伴奏者は本学で配置する。

器 楽

自由曲については, 楽器名・作曲者名・曲名をインターネット出願で登録して申請すること。

楽 器	実 施 内 容 及 び 留 意 事 項
ピ ア ノ	ア, イの順に暗譜で演奏し, 繰り返しは省略すること。使用する楽譜の版は指定しない。 ア 次の 3 曲より任意の 1 曲 L. v. Beethoven : Sonate 第2番 A-dur Op. 2 Nr. 2 第 1 楽章 第3番 C-dur Op. 2 Nr. 3 第 1 楽章 第4番 Es-dur Op. 7 第 1 楽章 イ 自由曲 下記の作曲者の作品より任意の 1 曲 (ソナタの場合は 1 つの楽章) 1) R. Schumann 2) F. Liszt 3) F. Chopin 4) J. Brahms 5) F. Mendelssohn
ヴァイオリン	下記のア, イを暗譜で演奏する。ただし, 無伴奏とする。 ア Carl Flesch : Scale Systemより C-dur No. 5 の冒頭の 12 小節 (テンポは ♩ = 100~120) No. 6, 7, 8 の冒頭の 4 小節 (テンポは ♩ = 40~50) イ 自由曲 1 曲
ヴィオラ	下記のア, イを暗譜で演奏する。ただし, 無伴奏とする。 ア Carl Flesch : Scale Systemより C-dur No. 5 の冒頭の 12 小節 (テンポは ♩ = 100~120) (注) ヴィオラ用に編曲された楽譜を使用すること。 イ 自由曲 1 曲

楽 器	実 施 内 容 及 び 留 意 事 項
チ ェ ロ	下記のア、イを暗譜で演奏する。ただし、無伴奏とする。 ア J.Loeb : Gammes et arpèges pour violoncelle (Billaudot版) により、 3 オクターブの音階と分散和音 (C, D, Es, E-dur の中から当日指定) 音階は、テンポ ♩ =60以上 スラーは  の形で演奏する。 分散和音は、テンポ、フィンガリングともに自由 スラーは  の形で演奏する。 イ 自由曲 1 曲
コントラバス	下記のア、イを暗譜で演奏する。ただし、無伴奏とする。 ア シャープ又はフラットが3個までの調号を持つ長調又は短調のうちから、 2 オクターブの音階 (調は当日指定。短調は和声的短音階と旋律的短音階の 両方を演奏する。テンポ、フィンガリング、スラーは自由) イ 自由曲 1 曲 (注) 楽器貸出し可能
フ ル ー ト オ ー ボ エ クラリネット ファゴット	下記のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。 ア 長調の音階、半音階及び主和音の分散和音 (調及びアーティキュレーション は当日指定) イ 自由曲 1 曲
ホ ル ン トランペット トロンボーン バス・トロンボーン テ ュ ー バ	下記のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。 ア 次の譜例により、長調の音階 2 オクターブ及び分散和音 (調は当日指定) M.M. ♩=88 L'istesso tempo  イ 自由曲 1 曲
パーカッション	下記のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。 ア 小太鼓の基本奏法 1 つ打ち, 2 つ打ち, 5 つ打ち (緩→急→緩 等, 当日指定), ロール (<, >, < > 等, 当日指定) イ 小太鼓, マリンバのいずれかを用了自由曲 1 曲 (注) マリンバ (5オクターブ半), 小太鼓, スタンド, バチ置きは貸出し可能

出 願 資 格 に 関 わ る コ ン ク ー ル 名 一 覧

作 曲

コ ン ク ー ル	対 象
朝日作曲賞（合唱曲作曲部門・吹奏楽曲作曲部門）	入 賞 及 び 入 選 者

声 楽

コ ン ク ー ル	対 象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入 賞 及 び 入 選 者
全日本合唱コンクール全国大会	出 場 資 格 を 得 た 者
NHK全国学校音楽コンクール全国大会	
瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール	

器 楽

◎ピアノ

コ ン ク ー ル	対 象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入 賞 及 び 入 選 者

◎弦楽器・管打楽器

コ ン ク ー ル	対 象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入 賞 及 び 入 選 者
全日本吹奏楽コンクール全国大会	出 場 資 格 を 得 た 者
全日本アンサンブルコンテスト全国大会	

※ 本年度の推薦入試出願資格に関わるコンクールについては、原則として一覧に掲載されたものに限定します。ただし、参加コンクールと同一種目（志願する専門）で受験してください。

※ 全日本合唱コンクール全国大会、全日本吹奏楽コンクール全国大会、全日本アンサンブルコンテスト全国大会については、在籍する高等学校から出場した場合に限ります。

学科・専攻	実 施 内 容 及 び 留 意 事 項
教育協働学科 スポーツ科学専攻	下記 1)～9)の競技種目の中から選択した1種目について、運動技能に関する実技検査を行う。 なお、実技検査で使用するウェア、シューズ、防具類等の個人用具は、すべて各自が持参すること。 1) 陸上競技 出願した当該種目について、試合形式で記録測定を行う。 2) バスケットボール 1. 各種シュート（ランニングシュート、ジャンプシュート） 2. 2対1または3対2 3. 速攻 4. ゲーム 3) サッカー フィールドプレーヤーまたはゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜フィールドプレーヤー＞ 1. ボールコントロール 2. 各種シュート（ドリブルシュート、センタリングシュート） 3. ゲーム（11対11） ＜ゴールキーパー＞ 1. ゴールキーピング（フィールドプレーヤーの2.3.のテストでゴールマウスに入って行う。） 2. キャッチング、ポジショニング、セービング、キックの各技能 4) バレーボール 1. 対人パス（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス） 2. 対人レシーブ 3. スパイクまたはトスまたはサーブレシーブ（選択） 4. ゲーム 5) 体操競技 男子：ゆか、あん馬、鉄棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。 女子：ゆか、平均台、段違い平行棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。 6) ダンス 1. 基礎的身体運動：示範の動き（伴奏付き）を練習後に実施。 2. 短いフレーズの創作（現代的なリズム）：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作 3. 課題による創作：課題（伴奏付き）を与え、課題からイメージしたものをダンス作品として創作。 7) 柔 道 1. 受身 2. 立技 3. 寝技 4. 乱取 8) 剣 道 1. 切り返し 2. 応じ技 3. 互角稽古・試合稽古 9) 水泳競技（競泳） 出願した当該種目について、試合形式で記録測定を行う。

出 願 資 格 に 関 わ る 大 会 名 一 覧

種 目 名	大 会 名 等
陸 上 競 技 <リレー種目は除く>	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校陸上競技選抜大会 ◇日本ジュニア・ユース陸上競技選手権大会
バスケットボール	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会
サ ッ カ ー	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校サッカー選手権大会 ◇高円宮杯U－18サッカーリーグ・プレミアリーグ ※2 ◇日本クラブユースサッカー選手権（U－18）大会 ◇Jユースカップ ◇全日本高等学校女子サッカー選手権大会 ◇全日本女子ユース（U－18）サッカー選手権大会
バ レ ー ボ ー ル	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全日本バレーボール高等学校選手権大会
体 操 競 技	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校体操競技選抜大会 ◇全日本ジュニア体操競技選手権大会
ダ ン ス	◇全日本高校・大学ダンスフェスティバル ◇洋舞（バレエ・モダン・コンテンポラリー・ストリート）コンクール
柔 道	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校柔道選手権大会 ◇金鷲旗高校柔道大会 ◇全日本ジュニア柔道体重別選手権大会
剣 道	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国高等学校剣道選抜大会 ◇玉竜旗高校剣道大会 ◇全国都道府県対抗剣道優勝大会 ◇全国都道府県対抗女子剣道優勝大会
水 泳 競 技（競 泳） <リレー種目は除く>	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民体育大会 ◇全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 ◇全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会

※1 上記のほか、全日本選手権大会（同等の大会を含む。）あるいは日本代表の資格で出場した国際大会等も対象となることがありますので、これらの大会等に参加した者は出願に先立ち、10月15日(火)までに入試課へ問い合わせてください。

※2 高円宮杯U－18サッカーリーグ・プレミアリーグに関しては、今年度9節終了時点で東・西各ブロック、8位まで出願可とします。

(6) - 2 実技検査の採点・評価基準

課程・学科・ 専攻・コース	実 施 内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	鉛筆による静物デッサン	対象把握する力，構成力，表現力などを総合的に評価する。
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	作曲，声楽，器楽から一つを選択	創作能力・演奏技術及び音楽性について審査し，総合的に評価する。
教育協働学科 スポーツ科学専攻	選択した1種目についての，運動技能に関する検査	種目固有の運動技能を体力・技術・戦術等の視点から総合的に採点・評価する。

(7) 面接（口述試験を含む）の内容及び採点・評価基準

課程・学科・ 専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	将来，技術分野の教員となるのにふさわしい資質と，技術や技術教育に関する知識・関心・理解をみる。くわえて，数学・理科（数学Ⅰ，数学Ⅱ，物理基礎の範囲）に関する小問をその場で課し，口頭で回答を求める。	技術分野の教員への意欲，技術や技術教育に関する知識・理解・関心・意欲・適性および面接時における話の要点や論理性などを総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	将来，美術の教員となるのにふさわしい資質と美術教育に関する知識・関心・理解度をみる。	美術の教員への意欲，美術教育に関する知識・関心・理解・適性，面接時の対応や話の論理性などを総合的に評価する。
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	芸術，特に音楽と社会との関わりについての理解と関心度をみる。	質問内容に関する知識，理解力，表現力及び意欲を総合的に評価する。
教育協働学科 スポーツ科学専攻	スポーツに関する理解と関心度をみる。	スポーツへの興味・関心・知識・意欲等を総合的に採点・評価する。

5 入学前教育について【美術・書道教育コースのみ】

学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コースの合格者には，入学前の学習支援として，本学が実施する個別の入学準備課題等に取り組んでいただきます。

詳細については，合格者発表後にお知らせします。

Ⅱ 大学入試センター試験を課す推薦入試

1 募集人員

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員（注1）
天王寺 （注2）	初等教育 教員養成課程	幼児教育専攻		3人
		小学校教育専攻	昼間コース	10人
			夜間5年コース	5人
柏原	学校教育 教員養成課程	特別支援教育専攻		7人
		小中教育専攻	学校教育コース	7人
			国語教育コース	7人
			英語教育コース	4人
			社会科教育コース	7人
			理科教育コース	5人
			家政教育コース	3人
			音楽教育コース	3人
		中等教育専攻	国語教育コース	3人
			英語教育コース	4人
			社会科教育コース	4人
			理科教育コース	3人
			家政教育コース	3人
			保健体育コース	5人
			音楽教育コース	3人
	教育協働学科	グローバル 教育専攻	英語コミュニケーションコース	7人
			多文化リテラシーコース	15人
教 育 学 部 合 計				108人

（注1）合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の合格者で補充します。

（注2）初等教育教員養成課程の幼児教育専攻及び小学校教育専攻昼間コースは、1～2年次を柏原キャンパスで修学予定です。

2 出願資格及び要件

次のいずれかに該当する者で、令和2年度大学入試センター試験において、本学が各募集区分で指定した教科・科目（49～54頁の「令和2年度大学入試センター試験を課す推薦入試の実施教科・科目等について」を参照）を受験する者。

なお、大学入試センター試験の外国語で英語を受験する場合は、必ずリスニングテストを受験すること。（リスニングテスト免除者は除く。なお、配点については49～54頁を参照）

課程・専攻	出願資格及び要件
初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.8以上の者 (3) 将来、幼稚園での学校教育に携わる教員を強く志望する者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.8以上の者 (3) 将来、小学校での学校教育に携わる教員を強く志望する者
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間5年コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.8以上の者 (3) 将来、小学校での学校教育に携わる教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者 (3) 特別支援教育に深い関心を持ち、将来、特別支援学校や小学校において、特別支援教育に携わる教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 学校教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者 (3) 教育学、心理学、道徳教育学に深い関心を持ち、将来、学校教育の教員を強く志望する者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 国語教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和２年３月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が４．０以上の者で、国語の評定平均値が４．３以上の者 (3) 国語科分野に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の国語科分野の教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 英語教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和２年３月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が３．８以上の者で、英語に関する科目の評定平均値が４．２以上の者 (3) 英語教育に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の英語の教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 社会科教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和２年３月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が４．０以上の者 (3) 社会科分野に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の社会科分野の教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 理科教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和２年３月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が３．８以上の者 (3) 理科に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の理科分野の教員を強く志望する者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 家政教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者 (3) 家庭科に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の家庭科の教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.6以上の者で、音楽の評定平均値が4.0以上の者 (3) 音楽教育に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の音楽の教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 国語教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者で、国語の評定平均値が4.3以上の者 (3) 国語科分野に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の国語科分野の教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 英語教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.8以上の者で、英語に関する科目の評定平均値が4.2以上の者 (3) 英語教育に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の英語の教員を強く志望する者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 社会科教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者 (3) 社会科分野に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の社会科分野の教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 理科教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.8以上の者 (3) 理科に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の理科分野の教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 家政教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者 (3) 家庭科に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の家庭科の教員を強く志望する者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・学科・専攻等	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 保健体育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.5以上の者 (3) 保健体育科教育への深い関心と高い体育実技能力を持ち、将来、中学校・高等学校の保健体育の教員を強く志望する者 (4) 高等学校在籍中に、次の運動種目のいずれかにおいて、団体若しくは個人種目で全国大会へ出場した者又は個人種目で各地区高体連主催の大会においてベスト8以上の成績を収めた者 陸上競技、バスケットボール、サッカー、ラグビーフットボール、バレーボール、ハンドボール、卓球、硬式テニス、ソフトテニス、硬式野球、バドミントン、体操競技、ダンス、柔道、剣道、水泳競技（競泳） 各地区高体連主催大会名（個人種目のみ対象） 全道高校体育大会、東北高等学校選手権大会、関東高等学校体育大会、北信越高等学校体育大会、東海高等学校総合体育大会、近畿高等学校（種目名）大会、中国高等学校選手権大会、四国高等学校選手権大会、全九州高等学校体育大会
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 音楽教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.6以上の者で、音楽の評定平均値が4.0以上の者 (3) 音楽教育に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の音楽の教員を強く志望する者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・学科・専攻等	出願資格及び要件
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和２年３月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が３.８以上の者で、英語に関する科目の評定平均値が４.２以上の者 (3) 将来、高度な英語のスキルと広い視野を身につ付け、グローバル化する社会において、地域や学校での教育・学習を支援することを望む者、又は英語を活かした職業について世界にはばたくことを望む者
教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和２年３月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和元年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が４.０以上の者 (3) 日本・アジアやヨーロッパの文化に深い関心を持ち、将来、国際社会やグローバル化する地域社会、学校などで種々の教育活動に取り組むことを望む者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

3 出願期間・出願方法等

(1) 出願期間

令和元年11月1日（金）から令和元年11月6日（水）まで（11月6日必着）

(2) 出願方法

インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の出願書類を郵送する「インターネット出願」を導入しています。出願完了には下記A、B、Cの順番で全ての手続が必要です。なお、各手続には受付期間が定められており、いずれか一つでも出願受付期間中に手続きが完了できない場合は出願を受理できませんので、十分ご注意ください。

- A インターネットによる出願登録
- B 入学検定料等（支払手数料含む）の支払い
- C 出願に必要な書類等の郵送での提出

【出願受付期間】

A インターネット出願登録期間	令和元年11月1日（金）9時～令和元年11月6日（水）12時（日本時間）
B 入学検定料等の支払期間	令和元年11月1日（金）9時～令和元年11月6日（水）12時（日本時間）
C 出願書類の郵送受付期間	令和元年11月1日（金）～令和元年11月6日（水）必着

この期間中に、インターネット出願登録と入学検定料等の支払いを完了し、なおかつ必要書類等が本学に到着していなければなりません。

必要書類等の受付は、郵送（書留速達）のみとし、出願受付期間を過ぎたものは受理しないので郵便事情を考慮し、余裕をもって早めに送付してください。ただし出願受付期間後に到着した場合でも11月3日（日）までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。また、出願受付期間最終日の11月6日（水）のみ、午前9時から17時まで、大阪教育大学入試課（柏原キャンパスC1棟1階）へ持参を認めます。

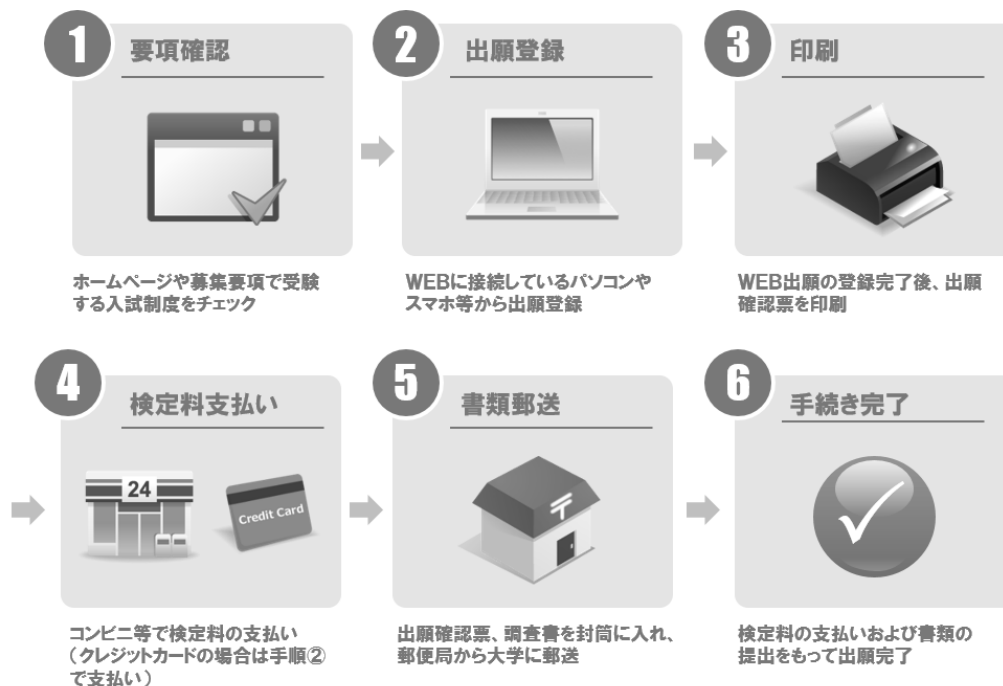
インターネット環境がない等の理由で、「A インターネットによる出願登録」を行えない場合は、大阪教育大学入試課まで相談してください。相談時期によっては、出願が間に合わない場合がありますので、早めの連絡をお願いいたします。

大阪教育大学入試課：072-978-3324（入試課直通）

※出願登録期間中、入試課窓口に設置する出願用パソコン・プリンタを利用することができます。

利用可能期間：出願登録期間中の平日（9：00～17：00、ただし6日は9：00～12：00）

【出願の流れ】



(3) 出願手順（インターネット出願）

大阪教育大学 入学試験 インターネット出願登録ページ

<https://sak-sak.net/app/oku>

※本学が出願登録業務を委託した外部サイトにつながります。

前頁のインターネット出願登録ページへアクセスし、重要事項が記載されている「**利用案内**」「**出願手順**」「**Q&A**」を必ず確認した上で、出願手続きを行ってください。

【登録前に準備するもの】

インターネット出願は登録中であっても、30分間何の処理も行わなかった場合は、データが消去されてしまいますので、ご注意ください。

パソコン・スマートフォン等の動作環境	インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。自宅にパソコン等がない場合は、学校等のパソコン等から出願してください。なお、出願登録期間中は大阪教育大学入試課にインターネット出願用のパソコンを設置します。
印刷環境（カラー推奨）	郵送が必要な書類をA4用紙に片面で印刷します。白黒印刷でもかまいません。自宅にプリンタ等がない場合は、学校等のプリンタ等から出力してください。なお、出願登録期間中は大阪教育大学入試課にインターネット出願用のプリンタを設置します。
メールアドレス	日常的に確認しやすいもの。出願登録時に必要となります。メール受信設定でドメインの設定を行っている場合は、「@sak-sak.net」を受信可能なドメインとして設定してください。
写真	2枚（同一）必要です。カラー、正面、上半身、脱帽、縦4cm x 横3cm、3か月以内に撮影したもの。
出願に必要な書類	志望する専攻、コース等により必要書類が異なります。必ず提出期間内に間に合うように郵送してください。
封筒	必要書類送付のために市販の角2封筒（24cm x 33.2cm）をご用意ください。
JAPAN e-Portfolioへの学びのデータの登録	学びのデータを「高大接続ポータルサイト JAPAN e-Portfolio」の登録を通じて提出する場合は42頁（7）を参照して学びのデータを登録してください。利用されていない方は、何もする必要はありません。

【出願登録受付期間】

令和元年11月1日（金）9時00分～令和元年11月6日（水）12時00分（日本時間）

【登録方法】

- ① アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）及び個人情報の取り扱いについて同意したうえで、「出願開始」ボタンをクリックしてください。
- ② 画面の指示に従って、「志願票選択」、「試験選択」、「志願先選択」画面で受験する区分、専攻、コース等を選択してください。なお、志望する専攻・コース等によっては「志願先附属情報」の入力を求められますので、必要に応じて入力してください。
注）実技試験を選択する者で、曲名等を登録して申請する必要がある者は、「志願先附属情報」で入力してください。
- ③ 画面の指示に従って「科目選択」で実技科目の選択、または「科目確認」で受験する科目の確認、「試験場確認」を行ってください。
- ④ 「試験選択」「選択中試験内容」を確認して、間違いがなければ「次へ」をクリックしてください。
- ⑤ 画面の指示に従って、志願者の個人情報を入力してください。メールの受信確認は出来る限り行ってください。

※JAPAN e-Portfolioと連携させる場合は、JeP 個人情報取得ボタンから画面の指示に従ってください。

- ⑥ 画面の指示に従って、「志願者情報入力確認」で訂正がないか、確認してください。出願登録完了後の登録内容の変更は出来ませんので、登録した内容を十分に確認してください。
- ⑦ 出願確認票の印刷
A4サイズの白の用紙に片面で印刷（カラー推奨・白黒可）してください。
- ⑧ 入学検定料等の支払い
次のいずれかの方法で支払い手続きを行ってください。出願確認票（本人控）に記載された支払期限までにお支払いください。
 - a クレジットカード、ネットバンキング
画面に従って、支払い手続きを行ってください。
 - b 指定のコンビニエンスストア及び Pay-easy（ペイジー）取扱い金融機関のATM
 - i 支払方法を選択し、表示される受付番号等（※）をメモするか、画面を印刷してください。
※支払いのための受付番号等は、出願受付番号とは別の番号です。

- ii 受付番号等を使用し、コンビニエンスストア、金融機関で支払い手続きを行ってください。
詳細はインターネット出願登録ページの「ご利用方法について」でご確認ください。
- ⑨ 必要書類等の郵送
必要書類等を書留速達により郵送してください。

【出願書類の郵送受付期間】

令和元年 11 月 1 日（金）～ 令和元年 11 月 6 日（水）（必着）

郵送受付期間後に到着した場合でも、11月3日（日）までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。（郵便事情を考慮して、早めに送付してください。）なお、郵送受付期間最終日の11月6日（水）のみ、9時から17時まで、大阪教育大学入試課（柏原キャンパスC1棟1階）への持参を認めます。

※注意 インターネット出願において、出願登録及び入学検定料等の支払いを行っただけでは、出願手続き完了にはなりません。郵送受付期間に必要な書類等を郵送（必着）する必要があります。郵送受付期間を過ぎたものは受理しないので、郵便事情を十分考慮し、余裕をもって早めに送付してください。

（４）入学検定料等の支払い方法

- ①入学検定料等 17,372円（入学検定料17,000円と受験票送付用郵便代372円※）。ただし、夜間5年コースは 10,372円（入学検定料10,000円と受験票送付用郵便代372円※）。

入学検定料等支払い時に、別途インターネット出願システム利用料（450円※）がかかります。

※消費税が増税された場合は、受験票送付用郵便代の金額とインターネット出願システム利用料が変更となります。金額はインターネット出願システムに表示されます。

②支払方法

クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、Pay-easy（ペイジー）の利用が可能です。それぞれの詳しい支払方法や手続き・注意事項等は「インターネット出願ページ」で出願情報登録後の「お支払方法選択」でご確認ください。

支払方法	備考
クレジットカード VISA, MasterCard	◆入学検定料等の支払いをインターネット出願と同時に完了することができます。
ネットバンキング ジャパンネット銀行、ゆうちょ銀行 楽天銀行、じぶん銀行等	
コンビニエンスストア ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、 セイコーマート、セブンイレブン、デイリーヤマザキ	◆各コンビニにより支払方法が異なりますので、詳細は69～71頁をご確認ください。 ◆支払い後、決済データの反映に数時間かかります。
Pay-easy(ペイジー)を利用可能なATM	◆取扱金融機関のPay-easy ロゴが付いているATMで支払うことができます。

【入学検定料等の支払い受付期間】

令和元年 11 月 1 日（金）9 時 00 分～令和元年 11 月 6 日（水）12 時 00 分（日本時間）

③注意事項

出願後、一旦受理した入学検定料等は61頁6の場合を除き返還できません。

東日本大震災（平成23年3月11日）及び熊本地震（平成28年4月14日）により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。詳細は以下のウェブページを参照してください。

https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/kenteiryoku_menjyo.html

(5) 出願書類等

1. 出願期間内に提出する書類等

	書 類 等	提出該当者	摘 要
インターネット出願登録内容	① 出 願 確 認 票 (書類確認票を含む)	全 員	インターネット出願登録ページの出願登録完了画面からA4用紙に印刷してください。必ず片面印刷にしてください。
	② 写 真 票	全 員	写真が2枚(同一) 必要です。インターネット出願登録完了画面からA4用紙に印刷し、所定の位置に貼り付けてください。 (カラー、正面、上半身、脱帽、縦4cm×横3cmで3か月以内に撮影したもの。写真の裏面に氏名及び志望専攻名を記入してください。)
	③ 宛 名 ラ ベ ル	全 員	出願登録完了画面からA4用紙に印刷(カラー推奨)の上、必要書類郵送用封筒(市販の角2封筒)の表面に貼り付けてください。
その他必要となる書類(⑤から⑦、⑩は本学ウェブページから印刷してください)	④ 調 査 書	全 員	出身学校長が作成し、厳封したもの
	⑤ 推 薦 書	全 員	本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの
	⑥ 競技成績に関する証明書※	保健体育コース志望者のみ	本学所定の様式により出身学校長が作成したもの ただし、記載した出願資格に該当するすべての競技実績について、下記①、②に示す資料(コピー可)を必ず添付してください。 ①大会名、年度、チーム若しくは個人の順位・表彰内容が明らかとなる資料(表彰状、専門雑誌等) ②トーナメント方式の団体競技においては、出願資格を満たした全国大会において 所属チームのすべての試合 の公式記録あるいは公的記録(各競技の主催者から報道機関に配布された資料のコピーを含む。)これらの記録が入手不可能な場合には、出場を客観的に証明できる専門雑誌等の記載資料
	⑦ 志 望 理 由 書	学校教育コース以外の志望者	本学所定の様式に志願者が自筆で作成してください。 字数については、次頁の「【参考】志望理由書の字数について」を参考に定められた字数で作成してください。
	⑧ 英語能力測定試験に関する証明書※	英語教育コース・英語コミュニケーションコース志望者のみ	実用英語技能検定、TOEFL iBT® などの英語能力測定試験で所定の等級又はスコア取得により、所定の点数加算を希望する場合は、40～42頁を参照のうえ、該当する試験の成績証明書など(コピー可)を提出してください。提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。 【注】出願受付期間後に提出することはできません。 成績証明書などがコピーの場合は、学校が原本証明したものを必ず提出 してください。
	⑨ 英語活動に関する証明書※	英語教育コース志望者のみ	スピーチコンテストやディベートコンテストあるいはそれに類する英語での活動における受賞歴や優れた業績を収めている者で、点数加算を希望する場合は、41頁を参照の上、英語での活動内容が客観的に証明できる書類(表彰状などコピー可)を提出してください。提出していただいた表彰状などは一切返却しません。 【注】出願受付期間後に提出することはできません。 表彰状などがコピーの場合は、学校が原本証明したものを必ず提出 してください。
	⑩ 海外研修等に関する提出用紙※	英語教育コース志望者のみ	海外研修等において優れた活動を行った者で、点数加算を希望する場合は、41頁を参照のうえ、活動内容が客観的に証明できる書類(修了書などコピー可)とともに提出してください。提出していただいた書類は一切返却しません。 【注】出願受付期間後に提出することはできません。 修了書などがコピーの場合は、学校が原本証明したものを必ず提出 してください。
	⑪ 伴 奏 用 楽 譜	幼児教育専攻及び音楽教育コース志望者のみ	音楽実技実施に必要な伴奏用楽譜は、B4版とし志願者氏名を明記してください。(1頁の大きさはB5版としてください。)

※⑥「競技成績に関する証明書」、⑧「英語能力測定試験に関する証明書」、⑨「英語活動に関する証明書」、⑩「海外研修等に関する提出用紙」については、「JAPAN e-Portfolio」で学びのデータとして登録し、インターネット出願ページを経由して提出することができます。提出方法については、42頁『(7) JAPAN e-Portfolioでの学びのデータの提出について』を確認してください。

2. 到着次第、送付する書類

書 類 等	提出該当者	摘 要
センター試験成績 請求票送付用紙	全 員	センター試験成績請求票は、出願時点では大学入試センターから志願者へ送付されていませんので、到着次第、本学ウェブページから所定の送付用紙をA4サイズで印刷し「令和2センター試験成績請求票」（国公立推薦入試用）を貼付して、令和元年12月20日（金）必着で郵送してください。

【参考】志望理由書の字数について

専攻・コース等	指定字数
幼児教育専攻	600字程度
小学校教育専攻 昼間コース	800字程度
小学校教育専攻 夜間5年コース	800字程度
特別支援教育専攻	800字程度
小中教育専攻・中等教育専攻 国語教育コース	1,200字程度
小中教育専攻・中等教育専攻 英語教育コース	400字程度
小中教育専攻・中等教育専攻 社会科教育コース	400字程度
小中教育専攻・中等教育専攻 理科教育コース	400字程度
小中教育専攻・中等教育専攻 家政教育コース	400字程度
小中教育専攻・中等教育専攻 音楽教育コース	800字程度
中等教育専攻 保健体育コース	600字程度
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	400字程度
教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	400字程度

(6) 英語能力測定試験等の成績利用

1. 学校教育教員養成課程 小中教育専攻・中等教育専攻 英語教育コース

小中教育専攻 英語教育コースと中等教育専攻 英語教育コースでは、実用英語技能検定、TOEFL iBT®などの英語能力測定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得している、英語での活動における受賞歴等がある、海外研修等で語学面において顕著な成績を残しているなどの場合は、大学入試センター試験の得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。ただし、(ア)と(イ)と(ウ)の合計点は50点を超えないものとします。

(ア) 本学が定める大学入試センター試験の得点の合計点に加算できる英語能力測定試験の等級又はスコアは次のとおりです。なお、利用できる英語能力測定試験は高等学校入学以降に受検した試験を対象とし、利用できる英語能力測定試験の得点加算は1つのみとします。

センター試験 への得点加算	実用英語 技能検定 (英検)	TOEFL iBT®	IELTS *	TOEIC® (L&R)	GTEC for STUDENTS**	GTEC/ GTEC (4技能) **	GTEC (3技能) **
50点	準1級以上	80以上	6.0以上	730以上	800以上	1190以上	730以上
25点	2級	65以上	5.0以上	600以上	680以上	1070以上	650以上

* IELTS はアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールの両方を対象とします。

** GTEC for STUDENTS, GTEC, GTEC (4技能), GTEC (3技能) は検定受検だけを対象とします。

英語能力測定試験の提出書類 (小中教育専攻・中等教育専攻 英語教育コース)

英語能力測定試験で所定の等級又はスコアを取得しているため、大学入試センター試験の得点の合計点に加算することを希望する場合には、該当する試験の成績証明書など（コピー可）を1通用意して、必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。なお、コピーの場合は、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。（出願受付期間後に提出することはできません。）

英語能力測定試験	提出書類（成績証明書など）
実用英語技能検定（英検）	実用英語技能検定 合格証明書
TOEFL iBT®	TOEFL Internet-based Test Examinee Score Report
IELTS	IELTS Test Report Form（成績証明書）
TOEIC®（L&R）	TOEIC® Listening & Reading Official Score Certificate（公式認定証）
GTEC for STUDENTS	SCORE REPORT(OFFICIAL SCORE)
GTEC	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
GTEC（4技能）	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
GTEC（3技能）	SCORE REPORT(OFFICIAL SCORE)

（注１）複数取得している場合には、最も得点加算が高いものを提出してください。

（注２）提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。

- （イ）スピーチコンテストやディベートコンテストあるいはそれに類する英語での活動における受賞歴や優れた業績を収めている場合は、50点を上限として、大学入試センター試験の得点の合計点が満点に達するまで加算します。ただし、高等学校入学以降のものに限ります。
点数加算を希望する場合は、英語での活動内容が客観的に証明できる書類（表彰状などコピー可）を用意して必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。なお、コピーの場合は、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。（出願受付期間後に提出することはできません。）

- （ウ）高等学校在籍時に学校主催の海外研修（修学旅行等学校行事に該当するものは除く）、あるいは民間が主催する研修や自分自身でプランを組んで海外で研修した場合、その期間・内容・成果に応じて50点を上限として大学入学センター試験の得点の合計点が満点に達するまで加点します。ただし加点にあたっては、受験者が記載の書類（JAPAN e-Portfolio等）の内容も加味しつつ、研修内容・成果を詳細に検討の上、得点を決めるものとします。

点数加算を希望する場合は、JAPAN e-Portfolioで提出する事が望ましいですが、利用していない場合は、「海外研修等に関する提出用紙」に記載の上、活動内容が客観的に証明できる書類（修了書などコピー可）を用意して必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。なお、コピーの場合は、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。（出願受付期間後に提出することはできません。）

2. グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース

グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコースでは、実用英語技能検定、TOEFL iBT®などの英語能力測定試験で本学が指定する次の等級又はスコアを取得している場合は、大学入試センター試験と個別学力検査「面接」の得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。

なお、利用できる英語能力測定試験は実用英語技能検定（英検）については高等学校入学以降、他の英語能力測定試験は出願最終日から遡って2年以内に受検したものを対象とし、利用できる英語能力測定試験の得点加算は1つのみとします。

合 計 点 へ の 得 点 加 算	実用英語技能 検定（英検）	TOEFL iBT®	IELTS ＊	TOEIC®(L&R) + TOEIC®(S&W) ＊ ＊	GTEC/ GTEC(4技能) ＊ ＊ ＊
180点	準1級以上	72以上	6.0以上	1560以上	1200以上
60点		65以上	5.5以上	1450以上	1110以上
30点		60以上	4.5以上	1300以上	1010以上
10点		55以上	4.0以上	1150以上	950以上

＊ IELTS はアカデミック・モジュールのみを対象とします。

＊ ＊ 「TOEIC® (L&R)テスト」及び「TOEIC® (S&W)テスト」両試験の受検及びスコアを必須とします。

＊ ＊ ＊ 2017年度実施の GTEC CBT のスコアを保有している場合は、GTEC での証明書が必要です。

英語能力測定試験の提出書類（グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース）

英語能力測定試験で所定の等級又はスコアを取得しているため、大学入試センター試験と個別学力検査「面接」の得点の合計点に加算を希望する場合には、該当する試験の成績証明書など（コピー可）を1通用意して、必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。コピーの場合は、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。（出願受付期間後に提出することはできません。）

英語能力測定試験	提出書類（成績証明書など）
実用英語技能検定（英検）	実用英語技能検定 合格証明書
TOEFL iBT®	TOEFL Internet-based Test Examinee Score Report
IELTS	IELTS Test Report Form（成績証明書）
TOEIC®(L&R) + TOEIC®(S&W)	TOEIC® Listening & Reading Official Score Certificate（公式認定証）及び TOEIC® Speaking & Writing Official Score Certificate（公式認定証）
GTEC/GTEC(4 技能)	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

（注1）複数取得している場合には、最も得点加算が高いものを提出してください。

（注2）提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。

（7） JAPAN e-Portfolioでの学びのデータの提出について

高大接続ポータルサイト「JAPAN e-Portfolio」を通じて学びのデータの提出を行うことができます。提出いただいたデータは、以下の目的で利用させていただきます。

■利用目的

i 入学者選抜に係るデータとして利用（主体性評価として利用）

下表の専攻・コース志願者のみ、入学者選抜に係るデータとして利用します。

ii 参考・参照利用（今後の入学者選抜改革に向けて参考にします。）

下表の専攻・コースの志願者以外については、入学者選抜に利用せず、参考・参照資料としてのみ利用します。可否には一切影響しませんので、提出にご協力いただける方は、任意での提出をお願いします。

i に該当する方で、JAPAN e-Portfolioを利用していない方は、証明書等を紙で提出していただくこととなりますので、39頁⑥⑧⑨⑩を参考に本学所定の様式等を他の出願書類と共に提出してください。

※詳細につきましては、<https://jep.jp/statics/faq/syutsugan.html>をご覧ください。

（JAPAN e-Portfolioのサイトに繋がります。）

JAPAN e-Portfolioを利用する専攻・コース等

課程・学科	専攻	コース	備考
学校教育教員養成課程	小中教育専攻	英語教育コース	英語能力測定試験等の加点に利用
	中等教育専攻	英語教育コース	英語能力測定試験等の加点に利用
		保健体育コース	競技成績に関する証明書の代わりとして利用
教育協働学科	グローバル教育専攻	英語コミュニケーションコース	英語能力測定試験の加点に利用

1. 学びのデータの登録方法

- ① 出願にあたって、競技実績、活動実績、資格・検定等を事前に「JAPAN e-Portfolio」 (<https://jep.jp>) へ入力しておく必要があります。

※既に利用している場合は、以下⑥～⑦の手順を確認し、漏れが無いか確認してください。

- ② 「JAPAN e-Portfolio」を利用するための ID は、高等学校教員から発行してもらってください。
- ③ ID が交付されたのち、「JAPAN e-Portfolio」にてパスワードの設定を含む初回登録を行うと利用できるようになります。
- ④ ID・パスワードを使用してログインし、最初にプロフィールの登録を行ってください。
- ⑤ トップ画面の「学びのデータを登録」から該当する項目を選択し、画面の指示に従って基本情報を登録してください。
- ⑥ 基本情報登録後「学びのデータを追加」を選択し、学びのカテゴリについて該当する競技実績、活動実績、資格・検定等をすべて入力してください。

※ 学びのデータ入力に際しては、必ず競技実績、活動実績を証明する賞状、証明書や文書、写真、大会公式記録、合格証等の添付、または各種実績等が確認できるウェブサイトの URL を記入してください。

- ⑦ 「学びのデータ」の各項目のうち、特に出願時必須項目については必ず入力を行うとともに、承認必須項目について高等学校の教員（顧問等）の承認を受けてください。なお、学外での活動成績については、⑤で「学校以外の活動」を選択した上で、成績入力後に活動証明書を印刷メニューで印刷し、学外の指導者の証明を受けたものを、スマートフォン等で画像にし、学びのデータに添付してください。

2. 学びのデータを主体性評価の利用のために提出する場合

☆ 競技成績に関すること（中等教育専攻 保健体育コース志望者のみ）

- ① 「JAPAN e-Portfolio」のトップ画面で「大学提出用データ」を選択してください。
- ② 「大学提出用データ一覧画面」で「新規登録」を選択してください。
- ③ 「提出先大学選択画面」で大学名を（大阪教育大学）と選択してください。
- ④ 「大学提出用データ作成画面」で「入試制度（その他入試）」を選択し、入試名欄に「センター試験を課す推薦入試」と入力してください。
- ⑤ 「大学提出用データ作成画面」で、「大学に提出する学びのデータを選択する」を選択し「大学提出用データ選択画面」にて、表示された学びのデータから「大会・試合の結果」「代表への選抜履歴」「段位の取得等」「ベスト記録・通算記録」「役職の履歴」「雑誌新聞等の記事」を選択してください。

選択時には、選択の誤りが無いよう、画面に表示されている学びのカテゴリのコードが、以下記載のコードと合っているか確認してください。

※部活動については下記表を参考に選択してください。

コード	項目	注意事項
D100	基本情報	
D101	大会・試合の結果	3つまで選択可
D102	代表への選抜履歴	該当する場合選択
D103	段位の取得等	該当する場合選択
D104	ベスト記録・通算記録	該当する場合選択
D105	役職の履歴	該当する場合選択
D106	雑誌新聞等の記事	該当する場合選択

（次頁へ続く）

※学校以外の活動については下記表を参考に選択してください。

コード	項目	注意事項
E100	基本情報	
E101	大会・試合の結果	3つまで選択可
E102	代表への選抜履歴	該当する場合選択
E103	段位の取得等	該当する場合選択
E104	ベスト記録・通算記録	該当する場合選択
E105	役職の履歴	該当する場合選択
E106	雑誌新聞等の記事	該当する場合選択

- ⑥「大学提出用データ作成画面」で「大学指定情報を入力する」を選択し、「大学指定情報登録画面」にて「出願先大学からの入力指定」で「入力指定あり」を選択、「テキスト入力指定」にチェックを入れ、タイトル欄に「身長・体重」、内容欄に「身長：●●センチメートル、体重：●●キログラム」と入力してください。

※●●はご自身の値を入力下さい

- ⑦「大学提出用データ作成画面」で「大学提出用個人情報を入力／確認する」を選択し、入力・確認した上で間違いが無ければ、登録ボタンを押下し「大学提出用データ提供確認画面」の内容を確認後、作成を完了してください。

☆ 英語能力測定試験に関すること（小中教育専攻・中等教育専攻 英語教育コース、グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース志望者のみ）

- ①「JAPAN e-Portfolio」のトップ画面で「大学提出用データ」を選択してください。
- ②「大学提出用データ一覧画面」で「新規登録」を選択してください。
- ③「提出先大学選択画面」で大学名を（大阪教育大学）と選択してください。
- ④「大学提出用データ作成画面」で「入試制度（その他入試）」を選択し、入試名欄に「センター試験を課す推薦入試」と入力してください。
- ⑤「大学提出用データ作成画面」で、「大学に提出する学びのデータを選択する」を選択し「大学提出用データ選択画面」にて、表示された学びのデータから「資格・検定」を選択してください。
- 選択時には、選択の誤りが無いよう、画面に表示されている学びのカテゴリのコードが、「H001 資格・検定」となっているか確認してください。
- ⑥「大学提出用データ作成画面」で「大学提出用個人情報を入力／確認する」を選択し、入力・確認した上で間違いが無ければ、登録ボタンを押下し「大学提出用データ提供確認画面」の内容を確認後、作成を完了してください。

※英語活動における受賞歴等の場合は、「G001 表彰・顕彰」などで提出してください。また、海外研修等の場合は、「F001 留学・海外経験」などで提出してください。

3. 学びのデータの参考・参照データとして提出する場合（任意提出）

- ①「JAPAN e-Portfolio」のトップ画面で「大学提出用データ」を選択してください。
- ②「提出先大学選択画面」で大学名を（大阪教育大学）と選択してください。
- ③「大学提出用データ作成画面」で「入試制度（その他入試）」を選択し、入試名欄に「参考情報」と入力してください。
- ④「大学提出用データ作成画面」で「大学に提出する学びのデータを選択する」を選択してください。
- ⑤「大学提出用データ選択画面」で、「学びのデータ」から、提出してよいものを選択してください。（この際、提出を控えたいデータは外すことができます。提出を控えたいデータがある場合はチェックを外してください。）

（8）障がい等のある者の事前相談

障がい又は病気その他の理由で、受験上の配慮を希望する者は、令和元年10月21日（月）までに入試課へ相談してください。詳細は、以下のウェブページを参照してください。

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/jizensoudan.html>

【TEL：072-978-3324 受付時間：平日9：00～17：00】

また、本学は障がい学生修学支援ルームを設置しています。本ルームは入学後に修学上の配慮を希望する者の事前相談にも応じています。

<問い合わせ先>障がい学生修学支援ルーム（受付時間：平日 9：00～17：00）

【電話・FAX：072-978-3479 電子メール：sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp】

（９） 出願に当たっての留意事項

国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部に限ります。

なお、不合格となった場合に備え、本学又は他の国公立大学の「前期・後期」等へ出願することができます。

注１ 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。また、出願事項（JAPAN e-Portfolioも含まれます。）が事実と相違していることが判明した場合は、合格又は入学許可を取り消すことがあります。

注２ 受理した出願関係書類は、いかなる理由があっても一切返還できません。

注３ 本学が各募集区分で指定した令和２年度大学入試センター試験の教科・科目を受験することを確認してください。（４９～５４頁，６６～６８頁参照）

4 入学者選抜方法等

(1) 実施日 令和元年11月16日(土)

ただし、教育協働学科グローバル教育専攻多文化リテラシーコースは、
志願者数によっては、11月17日(日)にも実施する場合があります。

(2) 検査科目・時間等

課程・専攻・コース	検査時間	
初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	実技・面接	10:00～
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	面接	10:00～
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間5年コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 学校教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 国語教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 英語教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 社会科教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 理科教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 家政教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース	実技	10:00～
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 国語教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 英語教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 社会科教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 理科教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 家政教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 保健体育コース	実技 面接	10:00～13:00 14:30～

※ 志願者数によっては、実技・面接の日時を変更することがあります。
その場合は、受験票返送時に「受験者注意事項」により通知します。

課程・学科・専攻・コース	検 査 時 間
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 音楽教育コース	実 技 10:00 ～
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	面 接 10:00 ～
教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	面接 (11/16) 10:00 ～ 面接 (11/17) 10:00 ～ (※) ※ 志願者数によっては実施しない場合があります。

※ 志願者数によっては、実技・面接の日時を変更することがあります。
その場合は、受験票返送時に「受験者注意事項」により通知します。

(3) 入学者選抜方法

課程・専攻・コース	選 抜 方 法
初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	大学入試センター試験(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び実技、面接を総合して行う。
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	大学入試センター試験(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間5年コース	大学入試センター試験(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	大学入試センター試験(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 学校教育コース	大学入試センター試験(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 国語教育コース	大学入試センター試験(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 英語教育コース	大学入試センター試験(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書、英語能力測定試験等の得点加算を利用する場合はその成績の証明書等)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 社会科教育コース	大学入試センター試験(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 理科教育コース	大学入試センター試験(5教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。

※ただし、総合得点が著しく低い者、または総合得点が低く大学入試センター試験の成績または個別学力検査の成績のいずれかが著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。

課程・学科・専攻・コース	選 抜 方 法
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 家政教育コース	大学入試センター試験(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース	大学入試センター試験(5教科5～6科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び実技検査を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 国語教育コース	大学入試センター試験(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 英語教育コース	大学入試センター試験(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書、英語能力測定試験等の得点加算を利用する場合はその成績の証明書等)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 社会科教育コース	大学入試センター試験(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 理科教育コース	大学入試センター試験(5教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 家政教育コース	大学入試センター試験(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 保健体育コース	大学入試センター試験(5教科5～6科目)、出願書類(学校長が作成した調査書、推薦書及び競技成績に関する証明書、志望理由書)、実技検査及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 音楽教育コース	大学入試センター試験(5教科5～6科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び実技検査を総合して行う。
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	大学入試センター試験(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書、英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその成績の証明書)及び面接を総合して行う。
教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	大学入試センター試験(3教科3～4科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。

※ただし、総合得点が著しく低い者、または総合得点が低く大学入試センター試験の成績または個別学力検査の成績のいずれかが著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。

(4) 令和2年度大学入試センター試験を課す推薦入試の実施教科・科目等について

センター試験を課す推薦入試で、大阪教育大学が課す令和2年度大学入試センター試験の利用教科・科目及び本学の実施する個別学力検査等は次のとおりです。なお、令和2年度大学入試センター試験において、本学が課す教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は、選抜の対象としません。また、個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合も、選抜の対象としません。

学部・課程・学科等			大学入試センター試験の利用教科・科目名		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等																
					試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	実技	面接	証明書	小計	合計						
初等教育教員養成課程学部	幼児教育専攻	国	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 又は2※	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1400						
			数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1																	
		理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地から1 ③物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1※	①～④ から1※																	
			外										英(Ⅱ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕 ※地歴, 公民から2の場合は理科①又は②から1 地歴, 公民から1の場合は理科③又は④から1 ※同一名称を含む科目の組合せは不可								
		昼間コース	国	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 又は2※	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250					950					
			数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1																	
	理		①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地から1 ③物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1※	①～④ から1※																	
	外		英(Ⅱ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕 ※地歴, 公民から2の場合は理科①又は②から1 地歴, 公民から1の場合は理科③又は④から1 ※同一名称を含む科目の組合せは不可																		
	夜間5年コース	国	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 又は2※	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950							
		数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1																		
	学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻	国	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 又は2※	センター試験	200	200	200	100	250				950						
				数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1																
理			①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地から1	①又は② から1																	
			外											英(Ⅱ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕							

配点に※印を付してある2教科は、一方が100の場合は、もう一方が200となります。

学部・課程・学科等				大学入試センター試験の利用教科・科目名		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									
				教科	科目名等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	実技	面接	証明書	小計
教 学 校 教 育 教 員 学 成 課 程 部	小中教育専攻	学校教育コース	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	センター試験	200	200	200	100	250				950	1250
			理 外	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①又は② ②物, 化, 生, 地から1 } から1 英(Ⅰ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	個別学力検査等						300	300			
		国語教育コース	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	センター試験	200	200	200	100	250				950	1250
			理 外	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①又は② ②物, 化, 生, 地から1 } から1 英(Ⅰ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	個別学力検査等						300	300			
		英語教育コース	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1又は2※ 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	★500				1200	1600
			理 外	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①～④ ②物, 化, 生, 地から1 } から1※ ③物基, 化基, 生基, 地基から2 } 並びに 物, 化, 生, 地から1* } ④物, 化, 生, 地から2 } 英(Ⅰ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕 ※地歴, 公民から2の場合は理科①又は②から1 地歴, 公民から1の場合は理科③又は④から1 *同一名称を含む科目の組合せは不可	個別学力検査等						400	400			
		社会科教育コース	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	センター試験	200	★400	200	100	250				1150	1500
			理 外	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①又は② ②物, 化, 生, 地から1 } から1 英(Ⅰ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	個別学力検査等						350	350			
		理科教育コース	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	センター試験	200	100	200	★400	250				1150	1550
			理 外	③物基, 化基, 生基, 地基から2 } ③又は④ 並びに 物, 化, 生, 地から1* } から1 ④物, 化, 生, 地から2 } 英(Ⅰ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目〕 *同一名称を含む科目の組合せは不可	個別学力検査等						400	400			

配点に※印を付してある2教科は、一方が100の場合は、もう一方が200となります。

配点に★印を付してある教科は、傾斜配点をしている教科を表しています。

学部・課程・学科等				大学入試センター試験の利用教科・科目名		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									
				教科	科目名等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	実技	面接	証明書	小計
教 学 校 教 育 部	小中教育専攻	家政教育コース	国	国	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1550
			理	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 又は2※ 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①～④ ②物, 化, 生, 地から1 } から1※ ③物基, 化基, 生基, 地基から2 } 並びに 物, 化, 生, 地から1* } ④物, 化, 生, 地から2 }											
		外	英(Ⅰ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕 ※地歴, 公民から2の場合は理科①又は②から1 地歴, 公民から1の場合は理科③又は④から1 *同一名称を含む科目の組合せは不可	個別学力検査等					600		600				
		音楽教育コース	国	国	センター試験	200	100	100	100	250			750		
	理	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } から1 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①又は② ②物, 化, 生, 地から1 } から1 英(Ⅰ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科5～6科目〕	個別学力検査等					600		600					
	中等教育専攻	国語教育コース	国	国	センター試験	200	200	200	100	250			950	1250	
			理	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①又は② ②物, 化, 生, 地から1 } から1 英(Ⅰ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕											
		外		個別学力検査等						300		300			
		英語教育コース	国	国	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	★500					1200
	理	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 又は2※ 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①～④ ②物, 化, 生, 地から1 } から1※ ③物基, 化基, 生基, 地基から2 } 並びに 物, 化, 生, 地から1* } ④物, 化, 生, 地から2 }	個別学力検査等								1600				
外	英(Ⅰ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕 ※地歴, 公民から2の場合は理科①又は②から1 地歴, 公民から1の場合は理科③又は④から1 *同一名称を含む科目の組合せは不可							400		400					
社会科教育コース	国	国	センター試験	200	★400	200	100	250				1150	1500		
	理	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①又は② ②物, 化, 生, 地から1 } から1 英(Ⅰ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	個別学力検査等							350	350				

配点に※印を付してある2教科は、一方が100の場合は、もう一方が200となります。

配点に★印を付してある教科は、傾斜配点をしている教科を表しています。

学部・課程・学科等				大学入試センター試験の利用教科・科目名		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									
				教科	科目名等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	実技	面接	証明書	小計
学校教育専攻 学員養成課程	中等教育専攻	理科教育コース	国	国	センター試験	200	100	200	★400	250				1150	1550
			地歴公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 1											
			数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1											
			理	③物基, 化基, 生基, 地基から2 } ③又は④ 並びに 物, 化, 生, 地から1* から1											
		外	④物, 化, 生, 地から2 英(Ⅰ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目〕 *同一名称を含む科目の組合せは不可	個別学力検査等				400	400						
		家政教育コース	国	国	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	
			地歴公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 又は2※											
			数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1											
			理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①～④ ②物, 化, 生, 地から1 } から1※											
		外	③物基, 化基, 生基, 地基から2 } 並びに 物, 化, 生, 地から1* ④物, 化, 生, 地から2 英(Ⅰ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕 ※地歴, 公民から2の場合は理科①又は②から1 地歴, 公民から1の場合は理科③又は④から1 *同一名称を含む科目の組合せは不可	個別学力検査等				600	600						
		保健体育コース	国	国	センター試験	200	100	100	100	250				750	
			地歴公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 1											
	数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, } から 簿, 情報 } 1												
	理		①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①又は② ②物, 化, 生, 地から1 } から1												
	外	英(Ⅰ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科5～6科目〕	個別学力検査等				250	200	150 (▲)	600					
	音楽教育コース	国	国	センター試験	200	100	100	100	250				750		
地歴公民		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 1													
数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, } から 簿, 情報 } 1													
理		①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ①又は② ②物, 化, 生, 地から1 } から1													
外	英(Ⅰ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科5～6科目〕	個別学力検査等					600		600						

配点に※印を付してある2教科は、一方が100の場合は、もう一方が200となります。

配点に★印を付してある教科は、傾斜配点をしている教科を表しています。

配点に▲印を付してある教科は、競技成績に関する証明書を表しています。

学部・課程・学科等				大学入試センター試験の利用教科・科目名		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													
						試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	実技	面接	証明書	小計	合計			
教 育 協 働 学 部	教 育 協 働 学 科	グローバル教育専攻	英語コミュニケーションコース	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地から1 英(リ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	から2	センター試験	200	200	200	100	★500				1200	1800		
				地歴公民															
			多文化リテラシーコース	数															
				理外															
教 育 協 働 学 部	教 育 協 働 学 科	グローバル教育専攻	多文化リテラシーコース	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地から1 英(リ), 独, 仏, 中, 韓から1 〔3教科3～4科目〕	から1	センター試験	200	■100	■100	■100	250				550	850		
				地歴公民															
			多文化リテラシーコース	数															
				理外															

配点に■印を付してある教科は、選択教科を表しています。

配点に★印を付してある教科は、傾斜配点をしている教科を表しています。

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

① 教科・科目名は次のように略しています。

国語→国、地理歴史→地歴、数学→数、理科→理、外国語→外

世界史A→世A、世界史B→世B、日本史A→日A、日本史B→日B、現代社会→現社、倫理→倫、政治・経済→政経、倫理、政治・経済→倫・政経

数学Ⅰ→数Ⅰ、数学Ⅰ・数学A→数Ⅰ・数A、数学Ⅱ→数Ⅱ、数学Ⅱ・数学B→数Ⅱ・数B、簿記・会計→簿、情報関係基礎→情報

物理基礎→物基、化学基礎→化基、生物基礎→生基、地学基礎→地学、物理→物、化学→化、生物→生、地学→地

英語（リスニング含む。）→英（リ）、ドイツ語→独、フランス語→仏、中国語→中、韓国語→韓

（注）地理歴史と公民は独立した教科なので、それぞれ1教科として数えます。センター試験出願の際には注意してください。

② 大学入試センター試験において、指定した教科・科目数を超過して受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。

ただし、地歴、公民から1科目を課す募集区分において2科目を受験した場合、又は理科（物理、化学、生物、地学）から1科目を課す募集区分において2科目を受験した場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。

③ 大学入試センター試験の外国語の「英語」にはリスニングテストを含みます。（リスニングテスト免除者を除く。）

④ 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。

⑤ 地理歴史及び公民については、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史A」と「世界史B」、「日本史A」と「日本史B」、「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理、政治・経済」の組合せをいいます。

⑥ 理科については、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目から2科目並びに「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択する場合において、同一名称を含む科目の組合せを選択することができません。「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

センター試験の外国語で英語以外（ドイツ語、フランス語、中国語及び韓国語）を受験している場合及びリスニングテストを免除されている場合は、筆記試験200点満点を250点満点に換算した成績を用います。（ただし、英語教育コースと英語コミュニケーションコースは500点満点に換算します。）

49～53頁で、センター試験の教科に傾斜をかけている専攻・コースと、その教科・係数等は次頁のとおりです。

【傾斜配点について】

課程・専攻・コース	教科・科目	素点 (A)	係数 (B)	配点 (A×B)	センター試験 配 点 合 計
学校教育教員養成課程 小中教育専攻・中等教育専攻 英語教育コース	外国語	2 5 0	2	5 0 0	1 2 0 0
学校教育教員養成課程 小中教育専攻・中等教育専攻 社会科教育コース	地理歴史 及び公民	2 0 0	2	4 0 0	1 1 5 0
学校教育教員養成課程 小中教育専攻・中等教育専攻 理科教育コース	理科	2 0 0	2	4 0 0	1 1 5 0
グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	外国語	2 5 0	2	5 0 0	1 2 0 0

(5) 実技検査

(5) - 1 実技検査の実施内容及び留意事項

課程・専攻・コース	実施内容及び留意事項
初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	次のⅠ・Ⅱの検査を実施する。 Ⅰ. 歌 唱 下記の5曲から任意の1曲を歌う。 1) アイスクリームのうた (作詞：佐藤義美 作曲：服部公一) 2) マーチング・マーチ (作詞：阪田寛夫 作曲：服部公一) 3) びわ (作詞：まどみちお 作曲：磯部俣) 4) 小さい秋みつけた (作詞：サトウハチロー 作曲：中田喜直) 5) めえめえ児山羊 (作詞：藤森秀夫 作曲：本居長世) (注) 1. 暗譜でなくてよい。 2. はじめの音を与えるので、伴奏なしで歌うこと。 3. <u>選んだ曲名をインターネット出願で登録して申請し、楽譜（移調して歌う場合は、移調した楽譜）に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。</u> Ⅱ. ピアノ 任意のピアノ演奏用独奏曲を1曲演奏する。 (注) 1. 独奏曲とは、ピアノのために作られた曲である。 他の楽器のために作られた曲は認めない。 2. 演奏は暗譜で行い、原則として繰り返しは省略すること。なお演奏の途中で中止させる場合がある。 3. <u>選んだ曲名をインターネット出願で登録して申請し、楽譜に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。</u>
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース	次のⅠ～Ⅲの検査を実施する。 Ⅰ. 歌 曲 下記の2曲から任意の1曲を歌う。 1) 浜辺の歌 成田為三 (As, F-Dur) 2) Caro mio ben G. Giordani (F, Es, D, C-Dur) (注) 1. 歌詞は、原語により暗譜で歌うこと。 2. 上記以外の調で歌う場合は、移調した伴奏用楽譜（正確、明瞭に記譜し、歌唱旋律及び歌詞を記入したもの）に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。（ただし、浜辺の歌については2番までとする。） 3. 伴奏者は本学で配置する。 Ⅱ. ピアノ 次の1), 2)からそれぞれ1曲ずつ、計2曲を演奏する。 1) 古典派のソナタから任意の一つの楽章（ただし緩徐楽章は除く） 2) ロマン派又は近現代の曲（ただし出版されている作品であること。邦人作品を含む。） (注) 1. 演奏は暗譜で、原則として繰り返しは省略すること。なお演奏の途中で中止させる場合がある。 2. <u>選んだ2曲の作曲者名と曲名をインターネット出願で登録して申請すること。</u> Ⅲ. 楽 典 (解答時間 60分) 高等学校の教科書 音楽Ⅰ 程度の内容

課程・専攻・コース	実 施 内 容 及 び 留 意 事 項
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 保健体育コース	保健体育実技検査：保健体育実技技能に関するテスト A. 体づくり運動は全員が行う。 B～Dの中から2つを出願時に選択すること。 出願後の変更は認めない。 A. 体づくり運動：ラジオ体操第一，第二及びみんなの体操の中から，当日指定された体操を行う。 B. 陸上運動：ハードル走（ただし，(1)で競技成績に関する証明書を提出した者は，選択できない。） C. 器械運動：マット運動（ただし，(12)で競技成績に関する証明書を提出した者は，選択できない。） D. 球 技：バスケットボール（ただし，(2)～(11)で競技成績に関する証明書を提出した者は，選択できない。） (1) 陸上競技 (7) 卓 球 (13) ダンス (2) バスケットボール (8) 硬式テニス (14) 柔 道 (3) サッカー (9) ソフトテニス (15) 剣 道 (4) ラグビーフットボール (10) 硬式野球 (16) 水泳競技（競泳） (5) バレーボール (11) バドミントン (6) ハンドボール (12) 体操競技
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 音楽教育コース	次のⅠ～Ⅳの検査を実施する。 なお，「Ⅱ．ピアノ」と「Ⅲ．管楽器」については，<u>いずれかを選択すること。</u> Ⅰ. 歌 曲 下記の2曲から任意の1曲を歌う。 1) Caro laccio F. Gasparini (Des, Es-Dur) 2) Sogno F. P. Tosti (As, B-Dur) (注) 1. 歌詞は，原語により暗譜で歌うこと。 2. 上記以外の調で歌う場合は，移調した伴奏用楽譜（正確，明瞭に記譜し，歌唱旋律及び歌詞を記入したもの）に志願者氏名を明記し，出願確認票とともに提出すること。 3. 伴奏者は本学で配置する。 Ⅱ. ピアノ（選択） 次の1)と2)計2曲を演奏する。 1) L. v. Beethoven：ソナタ 第11番 B-Dur Op. 22 第1楽章 2) F. Chopin：ワルツ集より任意の1曲 (注) 演奏は暗譜で行い，原則として繰り返しは省略すること。なお演奏の途中で中止させる場合がある。 Ⅲ. 管楽器（選択） 次の楽器から1つ選択し，任意の楽曲又は練習曲を1曲演奏する。ただし，演奏は暗譜で行い無伴奏とする。なお，演奏の途中で中止させる場合がある フルート，オーボエ，クラリネット，ファゴット，トランペット，ホルン，トロンボーン，テューバ (注) <u>選んだ楽器名，選んだ曲の作曲者名と曲名をインターネット出願で登録して申請すること。</u> Ⅳ. 楽 典 （解答時間 60分） 高等学校の教科書 音楽Ⅰ 程度の内容

(5) - 2 実技検査の採点・評価基準

課程・専攻・コース	実 施 内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 幼児教育専攻	I. 歌 唱 II. ピアノ	幼児教育において必要な表現力及び基礎技能について評価する。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース	I. 歌 曲 II. ピアノ III. 楽 典	教員養成（音楽）に必要な基礎的技術，表現力等について検査する。 併せて，実技に必要な基礎的知識についても審査し，総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 保健体育コース	保健体育実技検査 保健体育実技技能に関するテスト	中学校・高等学校の体育実技を指導するために必要な運動能力を総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 音楽教育コース	I. 歌 曲 II. ピアノ（選択） III. 管楽器（選択） IV. 楽 典	教員養成（音楽）に必要な基礎的技術，表現力等について検査する。 併せて，実技に必要な基礎的知識についても審査し，総合的に評価する。

(6) 面接（口述試験を含む。）の内容及び採点・評価基準

課程・専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	幼児教育に関する理解・関心度・意欲について発問する。協調性をみる内容を含む場合がある。	幼児教育に関する理解・関心度・意欲を総合的に評価する。表現力や協調性についても評価する場合がある。
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる。	面接をととして，論理性・表現力・応用能力をみるとともに，学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価する。
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間5年コース	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる。	面接をととして，論理性・表現力・応用能力をみるとともに，学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	特別支援教育への理解と関心，また将来，特別支援教育に携わる教員となるのにふさわしい資質をみる。	特別支援教育に関する知識と理解力，特別支援教育をとりまく諸課題に対する洞察力，障がいのある子どもに関わることへのやりがいと使命感，特別支援教育の教職に就くことへの意欲などについて総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 学校教育コース	教育学，心理学，道徳教育学への深い関心と，将来，学校教育の教員となるのにふさわしい資質をみる。	学校教育の教員への意欲と，教育学，心理学，道徳教育学に関する関心の度合い，認識や洞察の深さなどについて総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 国語教育コース	将来，国語科分野の小学校，中学校の教員となるのにふさわしい資質をみるために，教育に関する問題意識・態度について尋ね，くわえて，日本語に関する言語知識および言語文化について小文を提示し，その場で課題を課し，口頭で回答を求める。	面接をととして，日本語に関する言語知識および言語文化についての理解度や認識の度合いを確かめ，応答における論旨の明確さ，洞察の深さ，論展開の的確さ，言語表現力を判定する。ことばの教育への問題意識・態度と合わせ，国語科教育を担う教師としてふさわしい資質の持ち主であるか，総合的に評価する。

課程・学科・専攻等	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 英語教育コース	将来、小学校・中学校の教員となるのにふさわしい資質と外国語活動または英語教育に関する理解・認識・関心度および英語運用能力をみる。	主に英語教育に関する理解等について総合的に評価するが、それに関連する英語運用能力についても一定の割合で採点・評価する。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 社会科教育コース	将来、小学校、中学校教員となるのにふさわしい資質と人文・社会的事象に関する関心、知識、理解力をみる。	小学校、中学校教員への意欲、人文・社会的事象に関する関心、知識、理解力を総合的に捉え、採点・評価する。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 理科教育コース	理科に関する深い関心と、将来、小学校、中学校の教員となるのにふさわしい資質をみる。	面接をとおして、自然科学に関する知識や理解度と小中理科教員への意欲を総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 家政教育コース	家庭科に関する深い関心と、将来、小学校、中学校の教員となるのにふさわしい資質をみる。	家庭科に関する知識や理解度と、家庭科教員への意欲を総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 国語教育コース	将来、国語科分野の中学校、高等学校の教員となるのにふさわしい資質をみるために、教育に関する問題意識・態度について尋ね、くわえて、日本語に関する言語知識および言語文化について小文を提示し、その場で課題を課し、口頭で回答を求める。	面接をとおして、日本語に関する言語知識および言語文化についての理解度や認識の度合いを確かめ、応答における論旨の明確さ、洞察の深さ、論展開の的確さ、言語表現力を判定する。ことばの教育への問題意識・態度と合わせ、国語科教育を担う教師としてふさわしい資質の持ち主であるか、総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 英語教育コース	将来、中学校・高等学校の教員となるのにふさわしい資質と英語教育に関する理解・認識・関心度および英語運用能力をみる。	主に英語教育に関する理解等について総合的に評価するが、それに関連する英語運用能力についても一定の割合で採点・評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 社会科教育コース	将来、中学校、高等学校教員となるのにふさわしい資質と人文・社会的事象に関する関心、知識、理解力をみる。	中学校、高等学校教員への意欲、人文・社会的事象に関する関心、知識、理解力を総合的に捉え、採点・評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 理科教育コース	理科に関する深い関心と、将来、中学校、高等学校の教員となるのにふさわしい資質をみる。	面接をとおして、自然科学に関する知識や理解度と理科教員への意欲を総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 家政教育コース	家庭科に関する深い関心と、将来、中学校、高等学校の教員となるのにふさわしい資質をみる。	家庭科に関する知識や理解度と、家庭科教員への意欲を総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 保健体育コース	将来、保健体育教員となるのにふさわしい資質と、保健体育科目に関する関心・知識・理解力をみる。	中学校、高等学校保健体育教員への意欲、保健体育科目に関する関心・知識・理解力を総合的に捉え採点・評価する。
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	英問英答を中心とした口述試験を行い、英語圏言語文化に関連する教科に関する理解と認識をみる。	英問英答を中心とした口述試験を行い、英語圏言語文化に関連する教科に関する理解、認識、探究心及び運用能力を総合的に評価する。
教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	日本やアジア、ヨーロッパの言語文化、社会・芸術文化、教育文化に関する問題意識、知識や理解力、自らの意見を的確に表現する力をみる。	日本やアジア、ヨーロッパの言語文化、社会・芸術文化、教育文化に関する問題意識、知識や理解力、表現力を総合的に評価する。

各推薦共通

1 入学試験場

大阪教育大学柏原キャンパス 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1
〔近鉄大阪線「大阪教育大前駅」下車（「鶴橋駅」から約30分）南東へ約1km
※エスカレーター（上り専用を3基乗り継ぎ）、途中階段があります。〕

2 合格者の発表

合格者の発表は、下記の日時に、柏原キャンパスにおいて、受験番号を掲示して行います。

なお、合格者には、合格通知書及び入学手続関係書類を別途郵送します。

また、大学ウェブページ(https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/goukaku_happyou.html)においても同日時に掲載しますが、必ず合格通知書で確認してください。合格者の発表について、電話等による照会には、一切応じません。

また、大学周辺での合格電報等の勧誘・受付等は本学とは一切関係ありません。

選 抜 方 法	合 格 発 表 日	時 間
大学入試センター試験を課さない推薦入試	令和元年11月22日（金）	9：00
大学入試センター試験を課す推薦入試	令和2年 2月12日（水）	

なお、学校長には、郵送により通知します。

3 入学手続等

（1）入学手続期限及び方法

入学手続書類を本学所定の封筒に入れ、郵便事情を考慮のうえ、期日に間に合うよう「速達・簡易書留郵便」により郵送してください（合格発表から入学手続までの期間が短いので注意してください）。やむを得ない事情があって、郵送で入学手続ができない場合には、事前相談のうえ、所定の日時に持参（来学）による入学手続を認めます。詳細は入学手続関係書類を参照してください。

選 抜 方 法	手 続 期 限	
	郵送手続期限（必着）	やむを得ない事情による持参手続
大学入試センター試験を課さない推薦入試	令和元年12月10日（火）必着	令和元年12月11日（水） 13：00～15：00
大学入試センター試験を課す推薦入試	令和2年 2月18日（火）必着	令和2年 2月19日（水） 13：00～15：00

なお、入学手続期限までに入学手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱いますが、その場合においても、60頁（5）により「推薦入学辞退願（様式随意）」を提出しなければ、以後、当該学校は、推薦校として取り扱われないこともありますので、入学辞退の手続は必ず行ってください。

（2）入学手続書類送付先

大阪教育大学（柏原キャンパス）学生支援課

※やむを得ない事情による持参手続場所は、大阪教育大学柏原キャンパスとします。

(3) 入学手続に必要なもの

ア 本学受験票（大学入試センター試験を課す推薦入試の場合は、大学入試センター試験の受験票も必要）

イ 入 学 料 282,000円（ただし、夜間5年コースは141,000円）

入学手続後、既に納付した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。（入学辞退の場合も同様。）

下記の期日までに銀行窓口にて振込手続を行ってください。

大学入試センター試験を課さない推薦入試 令和元年12月 6日（金）

大学入試センター試験を課す推薦入試 令和2年 2月17日（月）

（注）1 上記記載の金額は、平成31年度入学者の金額であり、令和2年度入学者については、変更される場合があります。なお、詳細については合格者に別途通知します。

2 入学料の免除・徴収猶予制度があります。詳細は、62頁を参照してください。

ウ 入学時諸費用

大阪教育大学校友会

学 部 70,000円（ただし、夜間5年コースは55,000円）

（注）1 「大阪教育大学校友会」は、教育研究活動、大学行事、課外活動、福利厚生、奨学金給付及び就職への支援など様々な学生支援事業を行うとともに、在学生を含む卒業生、修了生の同窓会活動への支援を行う組織です。

2 入学時のみの費用です。

3 上記記載の金額は、変更される場合があります。詳細については、入学手続関係書類を参照してください。

(4) その他入学に必要な費用

ア 授 業 料

本学では授業料の「口座振替制度（口座引落し）」を実施しており、入学後、学生名義の預金口座から、前期分は4月に、後期分は10月に授業料を引き落とします。

授 業 料 （前期分） 267,900円（ただし、夜間5年コースは133,950円）

（年 額） 535,800円（ただし、夜間5年コースは267,900円）

（注）1 上記記載の金額は、平成31年度入学者の金額であり、令和2年度入学者については、変更される場合があります。なお、詳細については合格者に別途通知します。

2 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

3 授業料の免除・徴収猶予制度があります。詳細は、62頁を参照してください。

4 このほか、テキスト代や英語能力測定試験、実習等の経費、課外活動等の経費は別途必要となる場合があります。

(5) 入学辞退について

合格者で特別の事情があつて推薦入学を辞退する場合は、当該者の推薦を行った学校長と連名の「推薦入学辞退願（様式随意）」を下記の期限までに本学学長あてに提出し、許可を得てください。

選 抜 方 法	期 限
大学入試センター試験を課さない推薦入試	令和2年1月31日（金） 12：00
大学入試センター試験を課す推薦入試	令和2年2月18日（火） 12：00

4 一般入試との併願について

推薦入試の志願者は、不合格となった場合に備え、本学又は他の国公立大学・学部的一般入試に出願することができます。ただし、推薦入試に合格した場合は、上記3（5）で推薦入学の辞退を許可された場合を除き、一般入試の個別学力検査等を受験しても、入学許可は得られません。

5 個人情報の取扱いについて

出願書類から取得した個人情報及び入学試験の実施により取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大阪教育大学保有個人情報開示等取扱規程」に基づき、適切に管理し、以下の目的に利用します。

1. 入学者の選抜，合格発表，入学手続業務等に利用します。
2. 入学者の個人情報については，教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，就職支援，授業料免除，奨学金申請，図書館利用等），学生アカウント関係（学内メール，パソコン利用）及び授業料徴収に関する業務に利用します。
3. 氏名及び大学入試センター試験の受験番号は，国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため，独立行政法人大学入試センター及び併願先国公立大学へ送達します。
4. 入学者選抜に用いた試験成績は，今後の入学者選抜に資するための分析資料として利用します。

なお，以上の業務の一部またはすべてを外部に委託し，必要な個人情報を提供する場合，委託先との間で適切な取扱いに関する契約を締結します。

6 入学検定料等の返還請求について

次の ア)，イ) の場合を除き，出願後，一旦受理した入学検定料等は，返還できません。

ア) 入学検定料等を払い込んだが，出願しなかった場合，又は出願資格を有していないため出願書類が受理されなかった場合

イ) 入学検定料等を誤って二重に払い込んだ場合

上記 ア)，イ) に該当する場合は，大阪教育大学入試課まで問い合わせてください。

TEL 072-978-3324 受付時間：平日9：00～17：00
FAX 072-978-3327

返還に係る振込手数料は請求者の負担とします。

また，返還請求には領収証，明細票等の支払いを確認できる書類が必要となりますので必ず保管しておいてください。クレジットカードで支払った場合は，入金確認メールを打ち出したものでもかまいません。なお，入学検定料等の返還時期は，返還請求の時期にかかわらず，令和2年度推薦入試の入試終了後，12月下旬に一括して返還手続きを行います。

学生生活案内

(1) 入学料免除・授業料免除等

ア 入学料免除

下記の対象者のいずれかに該当する者については、本人の申請に基づき選考の上、免除が許可された場合、入学料の全額又は半額が免除されます。

対象者	(ア) 本学入学前1年以内(平成31年4月から令和2年3月まで)において、入学する者の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者 (イ) (ア) に準ずるやむを得ない事情があると認められる者 【単に収入が少ない(母子・父子世帯、失業等)だけでは免除の対象となりません。】
-----	--

イ 入学料徴収猶予

下記の対象者のいずれかに該当する者については、本人の申請に基づき選考の上、徴収猶予が許可された場合、最長で当該年度の8月末日まで猶予されます。(徴収猶予許可の可否に関わらず、指定された期限内に所定の入学料を納付しなければなりません。期限内に納付されない場合は除籍となります。)

対象者	(ア) 経済的理由によって入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者 (イ) 本学入学前1年以内(平成31年4月から令和2年3月まで)において入学する者の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者 (ウ) (イ) に準ずるやむを得ない事情があると認められる者
-----	--

ウ 授業料免除・徴収猶予

下記の対象者のいずれかに該当する者については、前期・後期ごとに、本人の申請に基づき選考の上、免除が許可された場合、当該期分の授業料の全額又は半額が免除されます。なお、納付期限までに授業料の納付が困難な場合は、授業料の徴収猶予制度もありますので、授業料免除と同様に申請を行ってください。

対象者	(ア) 経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者 (イ) 本学入学前1年以内(平成31年4月から令和2年3月まで)において本人の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる者 (ウ) (イ) に準ずるやむを得ない事情があると認められる者
-----	--

(注) いずれも申請についての詳細は、合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。大学ウェブページでも案内しています。

(ア、イ) <https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/nyumen.html>

(ウ) <https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/jyumen.html>

<問い合わせ先> 学生支援課奨学厚生係 (TEL 072-978-3303)

(2) 奨学金

学業成績が優秀で、経済的理由により学資の支弁が困難な者には、《日本学生支援機構奨学金》又は《一般奨学金》の制度があります。一般奨学金には、大きく分けて地方公共団体の奨学金と民間育英団体の奨学金とがあります。

(参考) 平成31年度入学者 日本学生支援機構奨学金の貸与月額例

奨学金の種類	自宅通学	自宅外通学
第一種奨学金 (無利子)	20,000円・30,000円・45,000円	20,000円・30,000円・40,000円・ 45,000円・51,000円
第二種奨学金 (有利子)	20,000円・30,000円・40,000円・50,000円・60,000円・70,000円・80,000円・90,000円・100,000円・110,000円・120,000円のいずれかより選択	

(注) 申請についての詳細は、合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。

大学ウェブページ(<https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/syougaku.html>)でも案内しています。

<問い合わせ先> 学生支援課奨学厚生係 (TEL 072-978-3305)

(3) 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険

本学では、大学の安全管理責任の観点から、学生の教育研究活動中の災害に対する補償制度として、「学生教育研究災害傷害保険(学研災)」・「通学中等傷害危険担保特約(通学特約)」及び「学研災付帯賠償責任保険(付帯賠償)」の「2,000万円・Aコース」に加入登録をしており、本学学生は全員加入とします。

【保険料】 (円)

区 分	保険期間	学研災	通学特約	付帯賠償	合計金額
学 部	4年間	2,300	1,000	1,360	4,660
夜間5年コース	5年間	500	1,250	1,700	3,450

(注) 保険加入手続は本学が行います。保険についての詳細は、合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。大学ウェブページ(<https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/hoken.html>)でも案内しています。

<問い合わせ先> 学生支援課学生支援係 (TEL 072-978-3312)

(4) 学生宿舎

【学生宿舎の概要】

所 在 地	大阪教育大学柏原キャンパス内 (大阪府柏原市旭ヶ丘 4-698-1)
収 容 定 員	男子棟(60人)・女子棟(80人)
寄 宿 料 等 (月 額)	5,000円 (その他共益費として700円, 光熱水料費として月額約6,000円程度) ※寄宿料, 共益費は平成31年度の金額であり, 改定が行われた場合には, 改定時から適用されます。
食 事	食事提供はありませんが, 各階「補食室」での自炊は可能です。
居 室	個室 【トイレ・浴室は共同】
居 室 面 積	約8㎡(約4.5畳)

【募集予定人数・入居資格・選考方法】

募 集 予 定 人 数	未定
入 居 資 格	下記のすべてに該当する者 1. 学部・大学院・特別支援教育特別専攻科に在籍する学生 (外国人留学生は除く) 2. 自宅から本学までの通学時間が片道2時間以上で通学が困難な者 3. 寮生相互の親睦や交流を積極的にはかり, 協力・協調して団体生活を送れる者
選 考 方 法	通学時間, 家計状況(家族の所得等)を基に選考します。

(注) 入居申請手続及び申請に必要な書類は、合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。
入居申請受付期間は、推薦入試, 前期日程, 後期日程等によってそれぞれ異なりますので、書類を受理したら提出方法等を確認のうえ、所定の期日までに申請してください。なお、申請に必要な証明書類等に不備がある場合は、受付できませんので、提出書類等詳細も必ず確認のうえ予め準備してください。
大学ウェブページ(<https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/syukusya.html>)でも案内しています。

<問い合わせ先> 学生支援課学生支援係 (TEL 072-978-3312)

(5) ノートパソコンの必携について

ア はじめに

本学では、ICT 科目の講義でパソコンを使用し、レポート作成や論文作成、教育実習など、大学生活の中で数多くの機会にパソコンを活用します。

みなさんの大学卒業時には、獲得した知識とスキルを教育現場や社会で十分に発揮できるように、自分専用のノートパソコンを用いてさまざまな活動を行ってもらうことを目的とし、みなさんのノートパソコンを大学へ持参していただいています。

イ 持参していただくノートパソコン

本学が指定する必要条件（最低限必要な機能・性能等）を満たす自分専用のノートパソコンを入学までにご用意ください。

必要条件を満たせば、すでにお持ちのノートパソコンを使用していただいても構いません。本学では、特定の機種を指定して購入をお願いすることはしていません。

詳しくは合格者に送付する入学手続関係書類に同封する「ノートパソコンの必携についてのご案内」にてお知らせします。

なお、令和 2 年度（2020 年度）の新入生向けノートパソコン必要条件は、前年度の必要条件とほぼ同様となる予定です。

ウ 貸与

やむを得ない事情で、ノートパソコンの貸与を必要とされる方には、「ノートパソコン貸与基準」により審査を通過した者に、原則入学後 6 ヶ月間に限り大学から貸与します。

参考

- ・ノートパソコンの必要条件（前年度の内容です）

<https://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~ipc/byod/>

- ・ノートパソコン貸与基準

<https://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~ipc/byod/taiyo2019.html>

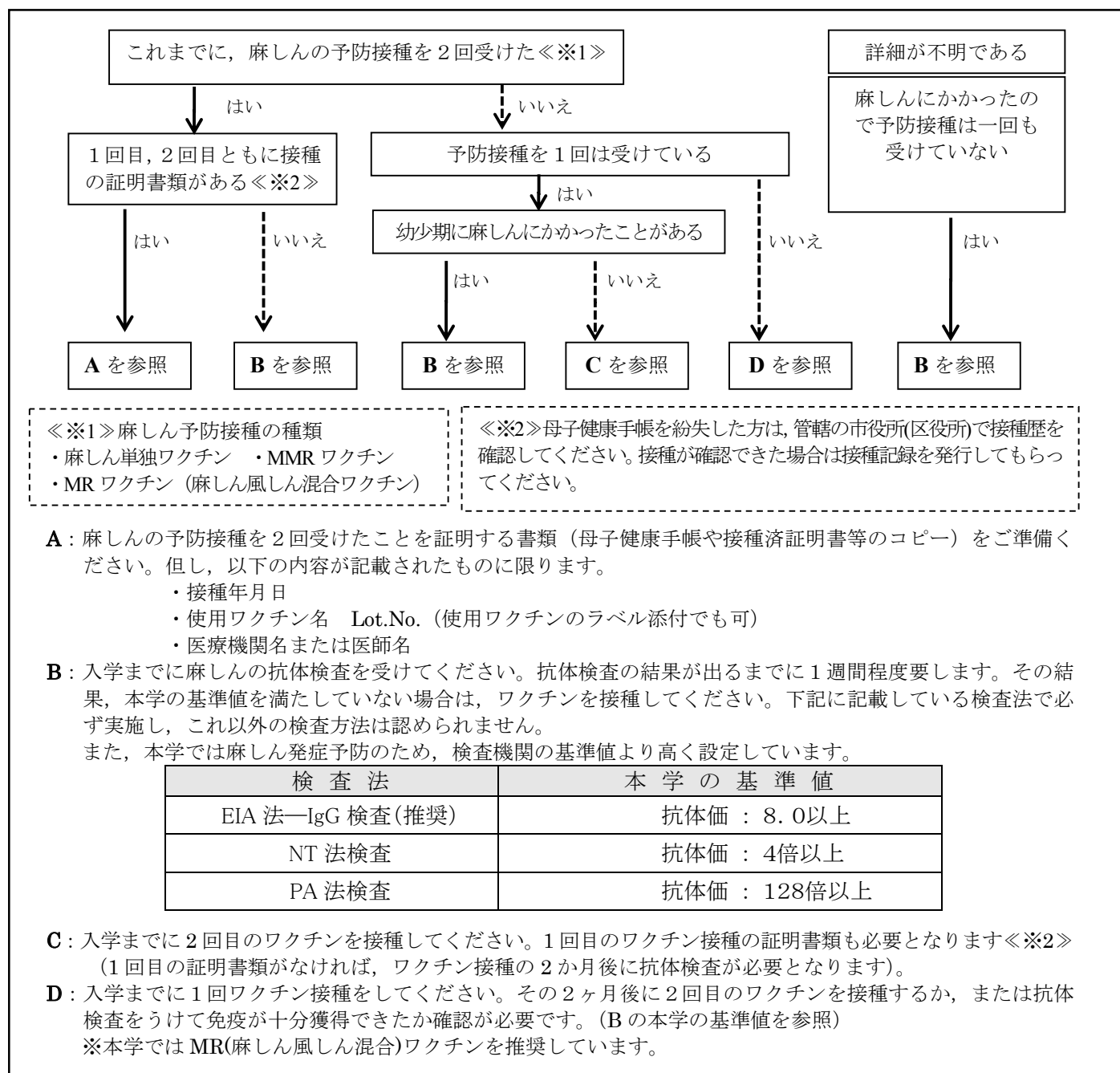
<ノートパソコン必携に関する問い合わせ窓口>

大阪教育大学 情報企画室 TEL : 072-978-3772（受付時間 平日 9:00～17:00）

麻しん（はしか）の予防について《お知らせ》

厚生労働省は、2007年に高校・大学を中心とした学校等での麻しん（はしか）流行を経験したことから、麻しん予防を学校保健上の重要な課題として位置づけ、文部科学省と協力の上、麻しんの流行をなくすため、予防に有効なワクチンの2回接種を強く勧奨しています。これに基づき、本学入学試験合格者は、入学手続き書類として【麻しん（はしか）に関する確認書】の提出が必要です。合格者の年齢に関係なく、全員が対象となります。

本学所定の【麻しん（はしか）に関する確認書】は、入学手続関係書類等と一緒に送付されます。お手元に届いてから入学手続きまでの期間が短い場合があります。下記のフローチャートを参考に、早めにご準備ください。



【麻しん（はしか）に関する確認書】については、入学手続に関する事前のお知らせです。
入学試験の出願や受験には関係ありません。

<問い合わせ先> 大阪教育大学保健センター TEL 072-978-3811(受付時間 平日9:00～16:00)

令和2年度大学入試センター試験受験教科・科目の確認表（センター試験を課す推薦のみ）

センター試験を課す推薦の出願にあたっては、本学が各募集区分で指定した令和2年度大学入試センター試験の教科・科目を受験することを、以下の方法により志願者本人の責任で確認してください。1科目でも受験していない者は、選抜の対象にはなりません。

下記の確認表で志望する課程専攻に該当するものを選んで、受験科目欄において受験するすべての科目に○を記入してください。確認表は、科目名の下に本学の教科・科目の指定に合わせて△や○などの印を付しており、教科名の上に指定する科目数を①（1科目）、②（2科目）と表記しています。従って、受験科目欄にそれに一致する数以上の○が記入されていれば、本学が各募集区分で指定した教科・科目を受験していることになります。なお、指定した教科・科目数を超えて受験する場合（△1科目のところに2つの○が入るなど）、どの科目の成績が利用されるかは49～54頁にも記載しています。

なお、数学②の線を付している科目については、定められた条件（53頁参照）を満たす者以外は利用できませんので、利用する志願者は出願前に入試課に確認してください。また、地理歴史及び公民においては、2科目受験の場合、2科目とも一方の教科を受験すれば5教科、1科目ずつ両教科から受験すれば6教科と数えます。

学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻／小中教育専攻（学校教育コース・国語教育コース・社会科教育コース）
教育協働学科	中等教育専攻（国語教育コース・社会科教育コース）
	グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース

↳ 5教科7～8科目又は6教科7～8科目（うち地理歴史及び公民が2科目）

	①		②				②				又は		①		①		①		①											
	国語	地 理 歴 史				公 民		理 科 ①		理 科 ②		数学 ①		数 学 ②		外 国 語														
	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理学	化学	生物学	数学I	数学I・A	数学II	数学II・B	簿記・会計	情報関係基礎	英語 (リスニングを含む)	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	
	◎	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	☆	☆	☆	☆	▽	▽	▽	▽	◇	◇	□	□	□	□	○	○	○	○	○
受験科目																														

受験科目欄に ◎に1、△に2、☆に2又は▽に1、◇に1、□に1、○に1 以上の数の○が入れば指定した教科・科目を受験していることになります。

科目数の指定を超えて、理科▽2 の者は、理科の第1解答科目の成績を用います。

理科☆2並びに理科▽1 の者は、高得点となる方の成績を用います。

初等教育教員養成課程 幼児教育専攻／小学校教育専攻（昼間コース・夜間5年コース）
 学校教育教員養成課程 小中教育専攻（英語教育コース・家政教育コース）
 中等教育専攻（英語教育コース・家政教育コース）

↳ 5教科7～8科目又は6教科7～8科目（うち地理歴史及び公民が1科目 又は 2科目）

①		① 〔 ② 〕				★②並びに▼① または ▼② 〔 ★② 又は ▼① 〕				①	①	①																
国語	地 理 歴 史				公 民				理 科 ①		理 科 ②		数学 ①	数 学 ②		外 国 語												
国 語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	数 学 I ・ A	数 学 II ・ B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	英 （ リスニングを含む ） 語	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語		
◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	★	★	★	★	▼	▼	▼	▼	◇	◇	□	□	□	□	○	○	○	○	○
受験科目																												

受験科目欄に ◎に1，▲に1または2（※▲に1のときは★に2並びに▼に1または▼に2，▲に2のときは★に2または▼に1），◇に1，□に1，○に1 以上の数の○が入れば指定した教科・科目を受験したことになります。

科目数の指定を超えて、地理歴史及び公民▲2と理科▼2で合計4 の者は、地理歴史及び公民の第1解答科目、理科の第1解答科目、並びに地理歴史及び公民と理科の第2解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。

地理歴史及び公民▲2と理科★2並びに▼1で合計5 の者は、地理歴史及び公民の第1解答科目、理科の高得点となる方の成績、並びに地理歴史及び公民の第2解答科目と理科のもう一方の成績のうち高得点となる方の成績を用います。

学校教育教員養成課程 小中教育専攻（理科教育コース）
 中等教育専攻（理科教育コース）

↳ 5教科7～8科目（うち地理歴史、公民が1科目）

		①		①										☆②並びに▽① または ▽②				①		①		①								
国語		地 理 歴 史				公 民				理 科 ①				理 科 ②				数学 ①		数 学 ②		外 国 語								
国 語		世界 史 A	世界 史 B	日本 史 A	日本 史 B	地 理 A	地 理 B	現代 社会	倫 理	政治・ 経済	倫 理、 政治・ 経済	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	数 学 I・ A	数 学 II・ B	簿記・ 会計	情報 関係 基礎	英（ リス ニ ン グ を 含 む） 語	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語		
◎		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	☆	☆	☆	☆	▽	▽	▽	▽	◇	◇	□	□	□	□	○	○	○	○	○
受験科目																														

受験科目欄に ◎に1，△に1，☆に2並びに▽に1または▽に2，◇に1，□に1，○に1 以上の数の○が入れば指定した教科・科目を受験したことになります。

科目数の指定を超えて、地理歴史及び公民△に2 の者は、地理歴史及び公民の第1解答科目の成績を用います。

学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース／中等教育専攻（保健体育コース・音楽教育コース）

↳ 5教科5～6科目（うち地理歴史、公民が1科目）

	①		①						☆② 又は ▽①			①			①																
	国語	地 理 歴 史				公 民			理 科 ①			理 科 ②			数学 ①	数 学 ②		外 国 語													
	国 語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会	倫 理	政 治・ 経 済	倫 理・政 治・ 経 済	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	数 学 I	数 学 I・ A	数 学 II	数 学 II・ B	簿 記・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	英 語 (リスニングを含む)	ド イ ッ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語	
	◎	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	☆	☆	☆	☆	▽	▽	▽	▽		◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	
受験科目																															

受験科目欄に ◎に1，△に1，☆に2又は▽に1，◆に1，○に1 以上の数の○が入れば指定した教科・科目を受験していることになります。

科目数の指定を超えて、地理歴史及び公民△2 の者、又は理科▽2 の者は、それぞれの第1解答科目の成績を用います。理科☆2並びに理科▽1 の者、又は数学◆2 の者は、それぞれの高得点となる方の成績を用います。

教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース

↳ 3教科3～4科目

①																			■① 又は ★②																			①																		
国語		地 理 歴 史						公 民				理 科 ①				理 科 ②				数学 ①		数 学 ②				外 国 語																														
国 語		世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会	倫 理	政 治・ 経 済	倫 理・ 政 治・ 経 済	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	数 学 I	数 学 I・ A	数 学 II	数 学 II・ B	簿 記・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	英 語 (リスニングを含む)	ド イ ッ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語																										
◎		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	★	★	★	★	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○																										
受験科目																																																								

受験科目欄に ◎に1，■に1または★に2，○に1 以上の数の○が入れば指定した教科・科目を受験していることになります。科目数の指定を超えて，■に2以上の者は、数学の各科目，地理歴史及び公民の第1解答科目，及び理科の第1解答科目のうち、最高得点の科目の成績を用います。（ただし，★に2並びに■に1以上の者は、数学の各科目，地理歴史及び公民の第1解答科目，及び理科の高得点となる方の成績のうち，最高得点となる方の成績を用います。）

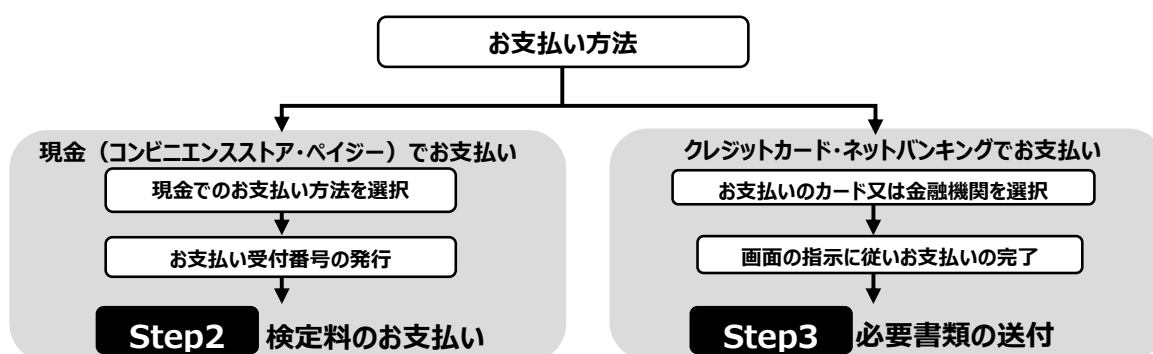
インターネット出願方法

インターネット出願を行なう場合は、Step1・Step2・Step3 の手順で申込みを行なってください。

検定料のお支払いについては、現金でお支払いの場合とクレジットカードでお支払いの場合で、手順が異なりますのでご注意ください。

Step1 インターネット出願登録

- 1 インターネット出願登録ページにアクセス
https://sak-sak.net/app/oku からアクセスしてください。本学ウェブページにもリンクがあります。
- 2 試験情報の登録
出願を希望する試験を登録します。
- 3 志願者情報の登録
氏名・住所・電話番号等を登録します。志望する専攻・コースによっては、曲名等、志願先付属情報の入力が必要なことがあります。
- 4 お支払い方法の選択
コンビニエンスストア、ATM 決済（ペイジー）、ネットバンキング、クレジットカードから選択します。
- 5 提出書類の印刷
提出書類を印刷します。



Step2 検定料のお支払い(現金でお支払いの場合)

現金でお支払いの場合は、以下の支払い方法がご利用できます。

コンビニエンスストア



領収証

銀行（ATM決済）



明細票

ご利用になられるお支払い方法の手順で、検定料のお支払いを行い、**領収証(明細票)**をお受け取りください。検定料等返還の際、必要ですので必ず保管しておいてください。
※現金でのお支払い方法の手順については、次ページ以降に記載しております。

【クレジットカード・ネットバンキングでお支払いの場合】

クレジットカードでお支払いの場合は、以下の支払い方法がご利用できます。



ネットバンキングでお支払いの場合は、画面の指示に従って手続きしてください。

Step3 必要書類の送付

提出用書類、調査書等の必要書類を郵送する

募集要項を確認し、出願確認票と同時に出力される「宛名ラベル」を必要書類郵送用封筒（市販の角2封筒）の表面に貼り付けて、「書留速達」で郵送してください。

LAWSON ローソン



Loppi へ

1. Loppi のトップ画面左の「各種番号をお持ちの方」を押してください。
2. 「受付番号」(6 桁)を入力し、「次へ」ボタンを押してください。
3. インターネット出願画面で登録した「電話番号」を案内にしたがって入力してください。
4. お申込み内容の確認画面で内容をご確認いただいた後、「了解」ボタンを押してください。
5. 「申込券」が出力されますので、30 分以内にレジでお支払いください。

※代金と引き換えに領収証をお受取りください。検定料等返還の際、必要ですので必ず保管しておいてください。

あなたと、コンビニに、 FamilyMart ファミリーマート



Fami ポートへ

1. Fami ポートのトップ画面左側の「代金支払い」を押してください。
2. 代金支払い一覧の「各種番号をお持ちの方はこちら」を押し「番号入力画面に進む」を押してください。
3. 「第1 番号」(6 桁)を入力し、OK ボタンを押してください。
4. 「第2 番号」にインターネット出願画面で登録した「電話番号」を案内にしたがって入力してください。
5. お申込み内容の確認画面で内容をご確認いただいた後、「OK」ボタンを押してください。
6. 「Fami ポート申込券」が出力されますので、30 分以内にレジでお支払いください。

※代金と引き換えに領収証をお受取りください。検定料等返還の際、必要ですので必ず保管しておいてください。

セブンイレブン

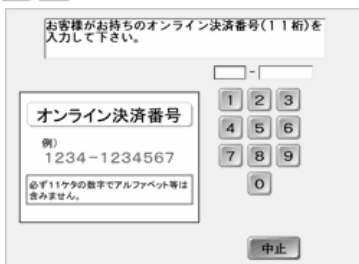


レジへ

1. セブンイレブン代金収納サービス払込票 URL から「インターネットショッピング払込票」を印刷するか、「払込票」番号を控えて、お近くのセブンイレブンのレジへ。
2. 「インターネットショッピング払込票」を店員に手渡すか、「インターネット代金の支払い」であることを告げ、「払込票番号」を伝え、お支払いください。

※代金と引き換えに領収証をお受取りください。検定料等返還の際、必要ですので必ず保管しておいてください。

デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア



レジへ

1. 「オンライン決済番号」が表示された画面を印刷するか、「オンライン決済番号」を控えて、お近くのデイリーヤマザキのレジへ。
2. 店員に、印刷した用紙を手渡すか、「オンライン決済」であることを教えてください。
3. レジの POS 画面に「オンライン決済番号」を入力してください。
4. 内容をご確認いただいた後、確定ボタンを押していただき、代金をお支払いください。

※代金と引き換えに領収証をお受取りください。検定料等返還の際、必要ですので必ず保管しておいてください。

ミニストップ



Loppi へ

1. Loppi のトップ画面左の「各種番号をお持ちの方」を押してください。
2. 「受付番号」(6 桁)を入力し、次へボタンを押してください。
3. インターネット出願画面で登録した「電話番号」等を案内にしたがって入力してください。
4. お申込み内容の確認画面で内容をご確認いただいた後、「了解」ボタンを押してください。
5. 「申込券」が出力されますので、30 分以内にレジでお支払いください。

※代金と引き換えに領収証をお受取りください。検定料等返還の際、必要ですので必ず保管しておいてください。

※コンビニをご利用の場合は、30 万円を超えるお支払いはできません。

※コンビニや ATM の端末操作方法や各種番号の桁数は変更になる可能性があります。



クラブステーションへ

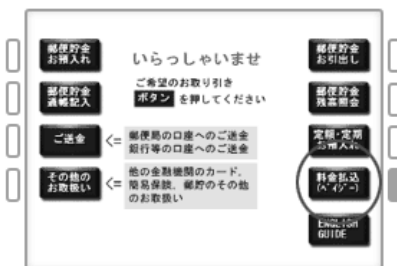
1. クラブステーションのトップ画面左下の「インターネット受付各種代金のお支払い」を押してください。
2. 「お支払い受付番号」（6桁）を入力し、次へすすむボタンを押してください。
3. インターネット出願画面で登録した「電話番号」を案内にしたがって入力してください。
4. お申込み内容の確認画面で内容をご確認いただいた後、「印刷」ボタンを押してください。
5. 「決済サービス払込取扱票・払込票兼受領証・領収書」の3枚が出力されますので、「終了」を押した後、レジでお支払いください。

※代金と引き換えに領収書等をお受け取りください。検定料等返還の際、必要ですので必ず保管しておいてください。

※コンビニをご利用の場合は、30万円を超えるお支払いはできません。

ペイジーでゆうちょ銀行/郵便局 ATM でお支払い

※左記のペイジーマーク表記のある ATM のみご利用いただけます。



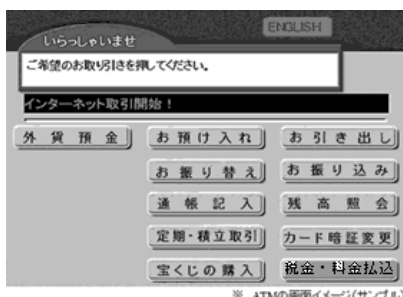
ゆうちょ銀行/郵便局 ATM へ

1. 料金払込(ペイジー)ボタンを押してください。
2. 次に表示される画面で、手入力ボタンを押してください。
3. 収納機関番号画面で「収納機関番号（58091）」を入力してください。
4. お客様番号画面でインターネット出願登録時の「電話番号」を入力してください。
5. 確認番号画面で「確認番号」（6桁）を入力してください。
6. 確認画面で入力した内容をご確認いただいた後、確認ボタンを押してください。
7. 振込内容をご確認いただいた後、確認ボタンを押してください。
8. お支払い方法（現金または通帳・カード）を選択してください。
9. お支払い方法別の案内にしたがって、支払いを行なってください。
10. 明細票をお取りください。

※検定料等返還の際、必要ですので必ず保管しておいてください。

ペイジーで各金融機関の ATM でお支払い

※左記のペイジーマーク表記のある ATM のみご利用いただけます。



※例.みずほ銀行の ATM

金融機関の ATM へ ※みずほ銀行の場合

1. 「税金・料金払込」ボタンを押してください。
2. 収納機関番号画面で「収納機関番号（58091）」を入力してください。
3. お客様番号画面でインターネット出願登録時の「電話番号」を入力してください。
4. 確認番号画面で「確認番号」（6桁）を入力してください。
5. 確認画面で入力した内容をご確認いただいた後、確認ボタンを押してください。
6. お支払い方法（現金またはキャッシュカード）を選択してください。
7. お支払い方法別の案内にしたがって、支払いを行なってください。
8. 明細票をお取りください。

※検定料等返還の際、必要ですので必ず保管しておいてください。

※ATM で現金でのお支払いの場合は、10万円を超えるお支払いはできません。

※コンビニや ATM の端末操作方法や各種番号の桁数は変更になる可能性があります。

インターネット出願に関するQ&A

※インターネット出願登録ページ上のQ&Aも参照してください。

	質 問	回 答
利用環境について	スマートフォン、タブレット端末から出願できますか。印刷の方法も教えてください。	出願可能です。利用する機種により画面が正常に表示されない場合があります。その場合は、パソコンを利用してください。携帯電話からは利用できません。スマートフォンやタブレット端末から出願した場合は、無線接続機能があるご家庭のプリンタや、コンビニエンスストアで出力してください。 【コンビニエンスストアでの印刷の方法】 *ご利用可能なコンビニエンスストア ローソン、ファミリーマート、セブンイレブン *ご利用方法について ・ローソン、ファミリーマートの場合 (http://www.sharp.co.jp/print/prsm/pc/) ・セブンイレブンの場合 (http://www.printing.ne.jp/)
	自宅にプリンタがありません。	以下の方法により印刷することが可能です。 ①学校等のプリンタで印刷。 ②コンビニエンスストアのマルチコピー機より印刷。 ※印刷方法は上の質問の【コンビニエンスストアでの印刷方法】を参照してください。 ③大阪教育大学入試課に設置のインターネット出願用のプリンタで印刷。
	メールアドレスはスマートフォン用や携帯電話のものをえますか。	利用可能です。メール受信設定でドメイン設定を行っている場合はメールが届かないことがあるため、「@sak-sak.net」を受信可能なドメインとして設定してください。登録したメールアドレスには、大学から大切な連絡が届く場合がありますので、必ず受信設定を行うようにしてください。
	メールアドレスを持っていません。	メールアドレスは登録が必須です。本人のメールアドレスがない場合はご家族のメールアドレスで登録してもかまいません。メールアドレスは出願登録完了および入金完了の確認メールを送信するために使用します。メールアドレスに誤りがある場合は確認メールが送信されませんので、登録画面で必ずメール受信確認を行ってください。
インターネット出願について	ボタンをクリックしても反応しません。または次の画面で正しい内容が表示されません。	*cookie（クッキー）の設定が有効であるか確認してください。 cookieを使用しているため、必ずブラウザの設定を「cookieを受付ける（有効にする）」にしてください。 【cookieの確認、設定方法】【Internet Explorer の場合】 「ツール」⇒「インターネットオプション」⇒「プライバシー」⇒「詳細設定」をクリックし、「自動Cookie処理を上書きする(0)」にチェックを入れ、その下にある「常にセッションCookieを許可する」にもチェックを入れてください。 *JavaScriptが有効になっているか確認してください。 JavaScriptを使用しているため、必ずブラウザのJavaScriptを有効にしてください。 【JavaScriptの設定方法】【Internet Explorer の場合】 「ツール」⇒「インターネットオプション」⇒「セキュリティ」⇒「レベルのカスタマイズ」を選択し、「スクリプト」⇒「アクティブ スクリプト」項目を「有効にする」を選択してください。
	「ご指定のページが見つかりません。」と表示されます。	一定時間操作を行わなかった場合、ブラウザの「戻る」「進む」ボタンをクリックした場合、出願登録画面を2画面以上開いた場合等に表示されることがあります。始めから出願登録をやり直してください。
	しばらく操作をしなかったら、タイムアウトになってしまいました。	30分などの処理も行わなかった場合には、登録途中であっても登録内容が消去されてしまいます。セッションタイムアウトの表示がでた場合は、始めから出願登録をやり直してください。
	途中でブラウザを閉じてしまいました。途中でインターネット接続が切れてしまいました。	始めから出願登録をやり直してください。

	質 問	回 答
インターネット出願について	提出用書類が開きません。（この文書は有効な PDF 文書ではないため、開けません。」と表示される。）	パソコン（スマートフォンの場合は chrome を使用して）から利用案内画面にアクセスしてください。 利用案内画面にてユーザ ID／パスワードを入力後、出願状況確認から該当の提出用書類をダウンロードしてください。
	氏名、住所の入力で正しい漢字が出ません。または入力できません。	旧字等で正しく変換できなかったり、エラーになる場合は代替の文字(全角)を入力してください。 例) 高木→高木, 山崎→山崎, III（ローマ数字）→3
	受信確認メールが届きません。 受付完了メールが届きません。	メールアドレスを確認してください。迷惑メールとして受信している場合がありますので、受信拒否設定を確認してください。
	入学検定料以外の値段が記載されていますが、どのようなものですか。	必要金額は、入学検定料等 17, 372 円（入学検定料 17, 000 円＋受験票送付用郵便代 372 円※）に加え、インターネット出願システム利用料 450 円※です。なお、小学校教育専攻夜間 5 年コースに出願する場合は、入学検定料が 10, 000 円となり、10, 372 円※とシステム利用料 450 円※がかかります。 ※消費税が増税された場合は、受験票送付用郵便代の金額が変更となります。金額はインターネット出願システムに表示されます。
	出願完了後に内容の変更はできますか。	出願完了後に内容の変更はできませんので、十分注意してください。 ただし、最終確認画面で出願ボタンをクリックするまでは、前の画面に戻って入力内容を修正することができます。 また、コンビニエンスストア、ネットバンキング、ATM（ペイジー）での振り込みの場合で、支払前の場合は、その番号では振込をせず、修正後の内容で再度出願登録をした上で、新しい番号で手続をすることにより、修正後の内容で出願することができます。 クレジットカードで決済された場合は、振込手続が完了しているため、出願内容は変更できません。
	出願受付番号を忘れてしまいました。	出願受付完了メールや印刷した出願確認票の本人控にも記載されていますので、確認してください。また、利用案内画面からユーザーID／パスワードを入力後、出願状況確認画面で確認できます。
	ユーザーID／パスワードを忘れてしまいました。	入試課までお問い合わせください。
	提出用書類を印刷し忘れました。	出願状況確認画面より提出用書類の再印刷が可能です。出願状況確認画面は、利用案内画面より、ユーザ ID とパスワードを入力し、「出願状況確認」ボタンをクリックすることで再度印刷可能です。
	出願を取り消したいのですが。	入金前の場合は、そのまま入金しなければ、自動的にキャンセルと同じ扱いになります。 入金後の場合は、キャンセルすることはできませんが、提出用書類を郵送しなければ出願は完了しません。出願せず、入学検定料等の返還を希望する場合は、入試課にご連絡ください。返還手続きについてご案内いたします。 インターネットによる出願登録、入学検定料等の支払い、出願に必要な書類等を郵送で提出を全て終えた場合は、出願を取り消すことはできず、必要書類の返却、入学検定料等の返還はできません。
	入学検定料の免除について教えてください。	16・38 頁にも記載がありますが、東日本大震災（平成 23 年 3 月 11 日）及び熊本地震（平成 28 年 4 月 14 日）により被災した志願者を対象に入学検定料免除を行う場合があります。 以下の本学ウェブページを参照した上で、入試課にご連絡ください。 インターネット出願時の注意事項もありますので、必ず事前のご連絡をお願いします。 https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/kenteiryoku_menjyo.html

問い合わせ先：入試課（072-978-3324） ※受付時間：平日 9：00～17：00

JAPAN e-Portfolio

高大接続ポータルサイト

「学びのデータ」を 大学に提出するには

出願大学に「JAPAN e-Portfolio」で作成した「JeP出願コード」を提出すると、
あなたの「学びのデータ」を大学が閲覧・ダウンロードできるようになります。

※詳しい手順については右記URLを参照してください。 >> <https://jep.jp/statics/faq/syutsugan.html>



STEP 1 「JAPAN e-Portfolio」の利用登録・ログイン

利用のためのアカウント（ログインID・パスワード）を取得し、ログインします。

※すでにお持ちの場合は新たに取得する必要はありません。 ※パスワードは初回利用時にご自身で設定してください。

高校生の方 …在籍高校にて先生にログインIDを発行してもらい、「JAPAN e-Portfolio」のトップページからログインします。

それ以外の方 …自分で「JAPAN e-Portfolio」から利用登録します。

STEP 2 「学びのデータ」を登録

あなたが取り組んだ活動とその過程での工夫や気づきなどを、8つのカテゴリ「探究活動」「生徒会・委員会」「学校行事」「部活動」「学校以外の活動」「留学・海外経験」「表彰・顕彰」「資格・検定」から選んで「学びのデータ」として登録します。

出願大学が提出を指定している学びのデータを要項で確認し、必ず登録するようにしてください。

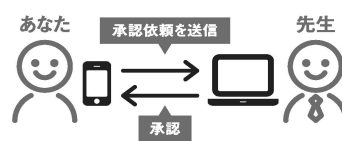


「大学提出用データ」作成の前に



高校生の方は、
先生の「承認」
が必要です。

「学びのデータ」には、「JAPAN e-Portfolio」のシステム上で在籍高校の先生の「承認」を受けないと大学に提出できないものがあります。出願直前には先生に「承認」依頼が集中し、出願期限に提出が間に合わない可能性がありますので早めに依頼しましょう。 ※高校生以外の志願者の方は「承認」は不要です。



STEP 3 「大学提出用データ」を作成

出願大学の指定している「学びのデータ」を選び、出願大学専用の「大学提出用データ」を作成します。

作成された「大学提出用データ」には、「JeP出願コード」という管理番号が発行され、「JAPAN e-Portfolio」のシステム内で保存されます。「大学提出用データ」は「JeP出願コード」発番後は編集できませんので間違いのないように作成しましょう。

STEP 4 「JeP出願コード」を大学に提出

インターネット出願経由で、「JAPAN e-Portfolio」から出願大学に「JeP出願コード」を提出します。

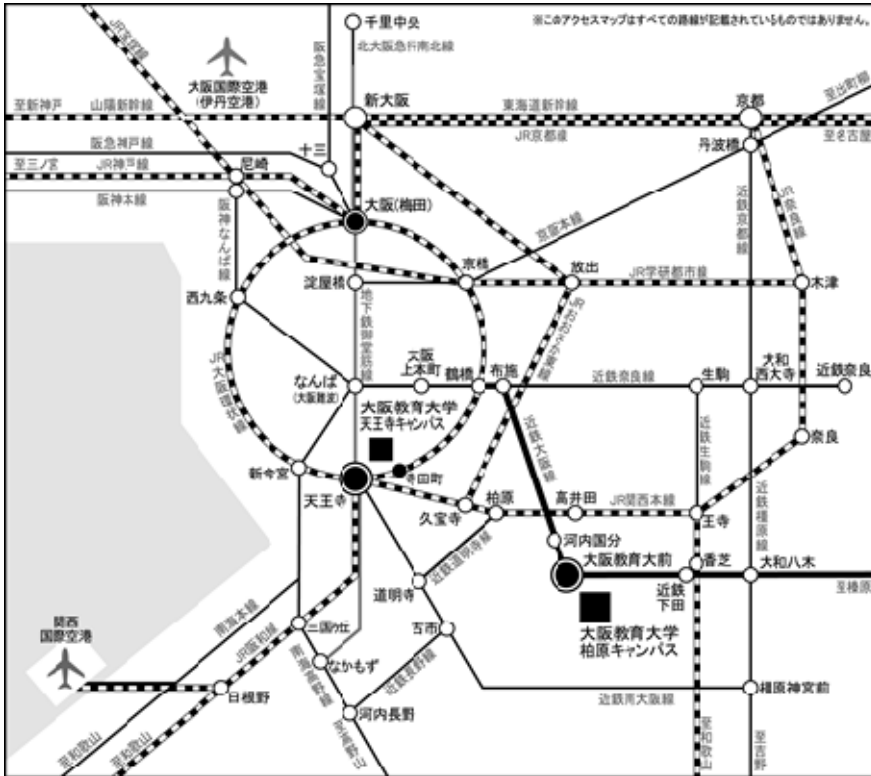
出願大学ではあなたから取得した「JeP出願コード」をキーに、あなたの「大学提出用データ」をダウンロード・閲覧できるようになります。

詳しい手順は >> <https://jep.jp/statics/faq/syutsugan.html>



大学所在地略図

所在地 〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1



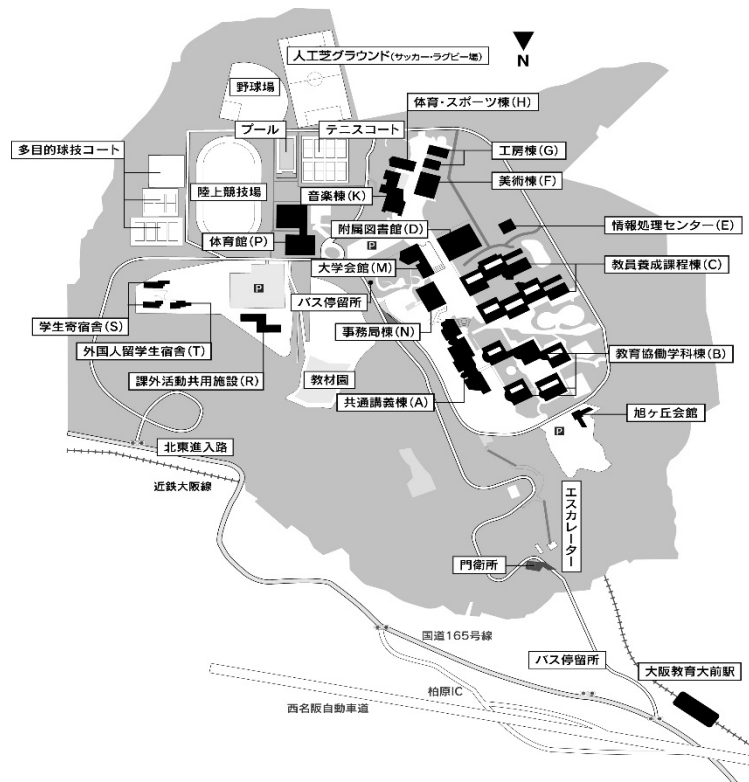
交通

近鉄大阪線「大阪教育大前駅」下車
（「鶴橋駅」から約30分）

南東へ約1km

※エスカレーター（上り専用を3基
乗り継ぎ）、途中階段があります。

入学試験場：柏原キャンパス



大阪教育大学では、下記の入試情報及び学生生活案内について本学ウェブページでお知らせしています。また、災害等により不測の事態が発生した場合も本学ウェブページで情報提供を行います。

- ・教育学部(一般入試, 推薦入試, 私費外国人留学生, 第3年次編入学)
- ・大学院教育学研究科(修士課程)
- ・大学院連合教職実践研究科(専門職学位課程)
- ・特別支援教育特別専攻科

ウェブページ
(PC・スマホ版)

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/>



【資料請求について】

大学案内や募集要項等は、本学ウェブページから資料請求やPDF版をダウンロードすることが可能です。またテレメールサイトに右のQRコードからアクセスし、請求することもできます。

(※推薦入試及び一般入試(前期・後期)は、紙の募集要項を発行していません)



問い合わせ先

大阪教育大学入試課

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

TEL 072-978-3324(入試課直通)

(受付時間：平日9：00～17：00)

FAX 072-978-3327

電子メール nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp